

中国における建築製品の基準・規格と認証制度  
に関する調査報告書

2013 年 7 月

株式会社 吳建築事務所  
吳 東航

# 目 次

## § 1 建築製品の基準・規格

1-1 中国の基準・規格体系	P.1
1-2 「国家標準」	P.2
1-3 「業界標準」	P.2
1-4 建築製品に関わる「標準」	P.5
1-5 建築製品のサイズ規格	P.5

## § 2 建築製品についての認定制度

2-1 中国の認定制度	P.7
2-2 「強制製品認証」と「任意製品認証」	P.9
2-3 建築製品の「認証」	
2-3-1 日本の認定制度との比較	P.10
2-3-2 建築製品の「強制製品認証」	P.11
2-3-3 建築製品の「任意製品認証」	P.13
2-3-4 そのほかの「認証」	P.15
2-4 「認証」のプロセス、時間、費用	P.17
2-5 「認証」以外の評価制度	P.17

## § 3 建築製品の「認証」と流通

3-1 建築製品の「認証」と運用	P.18
3-2 建築製品選び	P.18
3-3 建材市場	P.19

## § 4 住宅及び建築製品に関する政策と活動

4-1 「康居モデルプロジェクト」	P.22
4-2 グリーン建築	P.22
4-3 「中国不動産業新方向の創出」	P.22

ヒアリング調査先、建材市場調査、調査者略歴 P.23

付録資料 1 :「国家康居モデルプロジェクトにおいて康居製品認証を推進する通知  
2009 年」及び「国家康居モデルプロジェクトに用いる部品と製品リスト  
(抜粋)」(中国語) P.24

付録資料 2 :「グリーン建築評価標準 GB/T 50378-2006」 P.39

付録資料 3 :「2013 中国不動産業新方向の創出」募集要項 P.53

## § 1 建築製品の基準・規格

### 1-1 中国の基準・規格体系

中国では基準・規格のことを「標準」という。(本報告書では以下、固有名詞として「標準」または「…標準」のように表記し、「標準」=基準と理解されたい。)

中国の「標準」は、「中華人民共和国標準化法」と「中華人民共和国標準化法実施条例」(1989年4月1日から実施)に基づいて制定、発行されたものである。よって、「国家標準」と呼ばれるものも法律ではなく、日本の告示または日本工業規格 JIS に相当するものであると考えられる。その体系の全体像は図1のようく表すことができる。

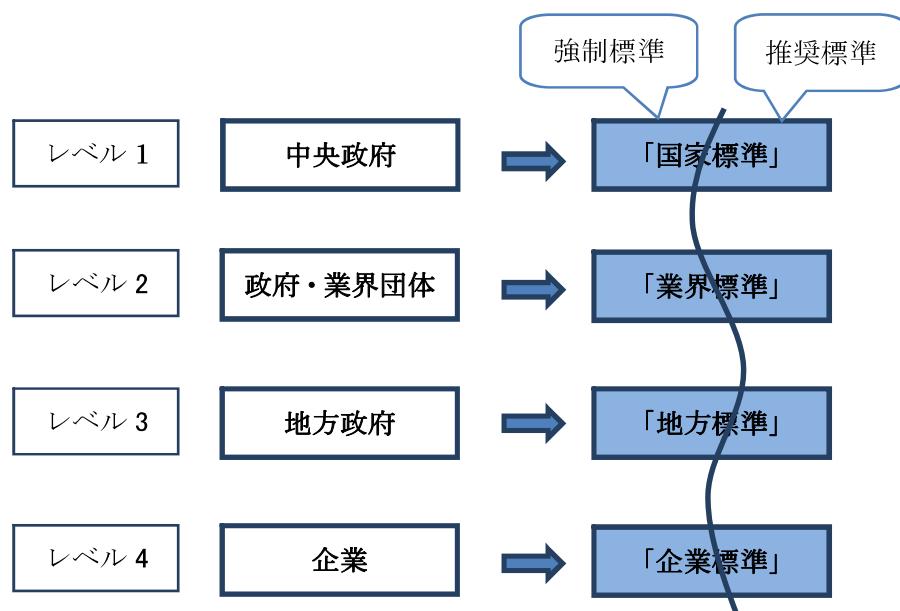


図1 「標準」の体系

まず、「標準」は「強制標準」と「推奨標準」に分かれている。「強制標準」は人体の健康、生命と財産の安全を守るもの及び、行政法規に強制的に定められたものである。「強制標準」を満足しない製品は、その生産、販売、輸入が禁止されている。他の「標準」は「推奨標準」となる。国は優遇政策などで企業の採用を励ますが、「推奨標準」が一旦指令性のある文書に取り入れられれば、相応する拘束力が発生する。

次に、「標準」は「国家標準」、「業界標準」、「地方標準」、「企業標準」の4レベルに分かれている。発行先はそれぞれ中央政府、業界団体(または政府の個別部門)、地方政府、企業になっている。

このほか、適用対象からは「技術標準」、「管理標準」、「作業標準」のように分類することができる。

「技術標準」にはベースとなる「標準」、製品の「標準」、加工の「標準」、計測試験方法の「標準」及び安全、衛生、環境保護の「標準」が含まれている。

「管理標準」は、協調や調整が必要となる管理事項に関するものである。  
「作業標準」は作業の責任、権利、範囲、品質要求、プロセス、効果、検査方法などに関するものである。

## 1-2 「国家標準」

「国家標準」は、国の指定機構「国家標準化管理委員会」（表 1）により発行されたものである。その主な構成は表 2 に示されている。

表 1 「国家標準化管理委員会」の中英文名称と連絡先

中国語名称	国家标准管理委员会
英語名称	Standardization Administration of the People's Republic of China
英文略称	SAC
住所	北京市海淀区马甸东路 9 号
郵便番号	100088
電話	+86-10-82262609
ファクシミリ	+86-10-82260684
E-MAIL	webmaster@sac.gov.cn
ホームページ	<a href="http://www.sac.gov.cn/">http://www.sac.gov.cn/</a>

表 2 国家標準の構成

強制国家標準 GB
推奨国家標準 GB/T ("T"は推奨を表す)
国家標準に関わる指導性技術資料 GB/Z
建設工事の国家標準 GBJ （現在は GB 50XXX シリーズの標準）
国家職業衛生技術標準 GBZ
国家軍事標準：GJB 例：GJB/Z 9001-2001 （国防科学工程委員会により発行） GJB 9001-2001 （総装備部により発行）

## 1-3 「業界標準」

主な「業界標準」及び記号は表 3 に掲げている。建築製品関わるもの太字で表している。

表3 「業界標準」の記号と名称

記号	名称
AQ	安全業界標準
BB	包装業界標準
CB	船舶業界標準
CECS	<b>建設工事推奨標準</b>
CH	測量業界標準
CJ	<b>中小都市建設業界標準</b>
CJJ	<b>中小都市建設業界建設工事規定</b>
CY	新聞出版業界標準
DA	保存書類業界標準
DB	地震業界標準
DL	電力業界標準
DZ	地質業界標準
EJ	核工業業界標準
FZ	紡織業界標準
GA	公安業界標準
GH	供給と販売協力に関する業界標準
GY	放送、映画業界標準
HB	航空業界標準
HG	化学工業業界標準
HGJ	化学工業建設工事規定
HJ	<b>環境保護業界標準</b>
HS	税関業界標準
HY	海洋業界標準
JB	機械業界標準
JC	建築材料業界標準
JG	建築業界標準
JGJ	<b>建築業界建設工事規定</b>
JR	金融業界標準
JT	交通業界標準
JY	教育業界標準
LB	観光旅行業界標準
LD	労働業界標準

LY	林業業界標準
MH	民間航空業界標準
MT	石炭業界標準
MZ	民政業界標準
NB	エネルギー業界標準
NY	農業業界標準
QB	軽工業業界標準
QC	車業界標準
QJ	航天業界標準
QX	気象業界標準
SB	商業業界標準
SC	水産業界標準
SH	石油化学工業業界標準
SJ	電子業界標準
SL	水利業界標準
SN	商品検査業界標準
SY	石油業界標準
TB	鉄道業界標準
TD	土地利用業界標準
TY	体育業界標準
WB	物質流通業界標準
WH	文化業界標準
WM	海外貿易業界標準
WS	衛生業界標準
WW	文化財保護業界標準
XT	レアアース業界標準
YB	鉄鋼冶金業界標準
YC	タバコ業界標準
YD	通信業界標準
YS	有色金属冶金業界標準
YY	医薬業界標準
YZ	郵政業界標準
ZY	漢方薬業界標準
ZC	知的所有権標準

#### 1-4 建築製品に関する「標準」

「国家標準 GB」の数は2万以上あると言われている。それについては詳細に分類されておらず、建築に関するものの正確な数は統計されていない。但し、「国家標準」には主に建物全体の安全性や品質に関するものの方が多いので、部分的な存在とした建築製品についてはほとんど「業界標準」に関わると思われる。以下、関連するものと発行元などをまとめ表4に掲げる。

表4 建築製品に関する「業界標準」

記号	名称	発行元	数量
CECS	建設工事推奨標準	中国建設工事標準化協会、(住建部)	1142
JG	建築業界標準	住宅都市農村建設部など	
JGJ	建築業界建設工事規定	住宅都市農村建設部など	270
CJ	中小都市建設業界標準	住宅都市農村建設部など	
CJJ	中小都市建設業界建設工事規定	住宅都市農村建設部など	698
JC	建築材料業界標準	国家発展改革委員会など	596
HJ	環境保護業界標準	環境保護部など	470

#### 1-5 建築製品のサイズ規格

中国の「推薦標準」である「GBJ 2-86 建築模数協調统一標準」に定められている建築のモジュールは100mmである。過去、建築にレンガを多用した時には240mm、鋼製型枠を多用した時には600mmをモジュールとしたこともあった。今は、どのモジュールも建築設計と建材生産、建築製品への指導の役割が全く果たされていないと言われている。

そのため、建築製品のサイズ規格は混乱していると言えよう。その原因是以下のように言われている。

- ① 「標準」制定部門は複数があり、調整役がない。例えば天井やフローリングなどの仕上げ材の規格は建設関係部門ではない軽工業部により制定されたものである。
- ② 生産設備には輸入されたものが多く、製品が輸入先の国の規格になってしまい。
- ③ 現場のフィードバックによる調整がほとんど行われていない。

以下は、建材市場からみた建築製品のサイズ規格例である。

- ① 材質に問わず、全ての板材は1220×2440mm(4フィート×8フィート)に統一されている。これは板材の協会が定めたものであり、中国ではフィートを標準としたものが極めて珍しい。
- ② フローリング：長さ×幅×厚さ=910×130×15mm、807×130.5×12mm、1251×143×12.3mmなどがある。

- ③ システム天井 : 300×300mm、400×600mm、300×600mm がある。軽工業部により工業製品として規格を整備したそうである。
- ④ タイル : 300×300mm、300×450、600×600、800×800、1200×1200などがある。コストの関係でますます大きいものが採用される傾向である。

なお、建材市場に出店している玄関ドア、室内ドア、窓サッシ、システムキッチン、家具などのメーカーは基本的に製品販売ではなく、受注生産体制を取っている。購入者がほとんど個人なので、住宅一件ずつ採寸を行ってから制作する。

## § 2 建築製品についての認定制度

### 2-1 中国の認定制度

中国の認定制度は「認証」という。(本報告書では以下、固有名詞として「認証」または「…認証」のように表記し、「認証」=認定と理解されたい。)

「認証」とは、「認証機構」により製品、サービス、管理体制が関わる技術基準、その中の強制項目を満たすことを認めることがある。

「認証機構」は「中国国家認証認可監督管理委員会」(表 5) の認可を受け、審査と認証の権限をもつ機関であり、2013 年 6 月時点には全国で 175 機構ある。

表 5 「中国国家認証認可監督管理委員会」の中英文名称と連絡先

中国語名称	中国国家认证认可监督管理委员会
英語名称	Certification and Accreditation Administration of the People's Republic of China
英文略称	CNCA
住所	北京市海淀区马甸东路 9 号
郵便番号	100020
電話	+86-10-82260777
ファクシミリ	+86-10-82260799
ホームページ	<a href="http://www.cnca.gov.cn/cnca/">http://www.cnca.gov.cn/cnca/</a>

中国の「認証制度」は「中華人民共和国製品質量法」(1993 年)、「中華人民共和国認証認可条例」(2003 年)などの法律に基づいたものである。2001 年、中国が世界貿易機関 (WTO)への加盟と伴い、「中国国家認証認可監督管理委員会」が創設され、認証の制度、標準、方法、管理が統一され、「認証制度」が健全化されてきた。

「認証制度」の全体像は図 2 に示されている。主な「認証」項目及び全体に対する数の割合は表 6 に示されている。

「製品認証」は今まで最も多く行われた認証で、その中のほとんどが「強制製品認証」であり、「任意製品認証」は割合としては僅かであった。

「管理システム認証」は近年急激に増えてきた認証である。その中でも ISO9001 に該当する GB/T19001 品質管理システム認証、ISO14001 に該当する GB/T24001 環境管理システム認証と GB/T28001 職業健康安全管理システム認証がほとんどであった。以上の 5 項目の「認証」は全体の約 97%に及んでいる。

なお、「製品認証」のための製品検査は「認証機構」ではなく、「認可実験室」、「認可検査機関」により行われる。「認可実験室」、「認可検査機関」は「中国合格評定国家認可委員会」(CNAS、ホームページ <http://www.cnas.org.cn/>) により認可、指定されている。

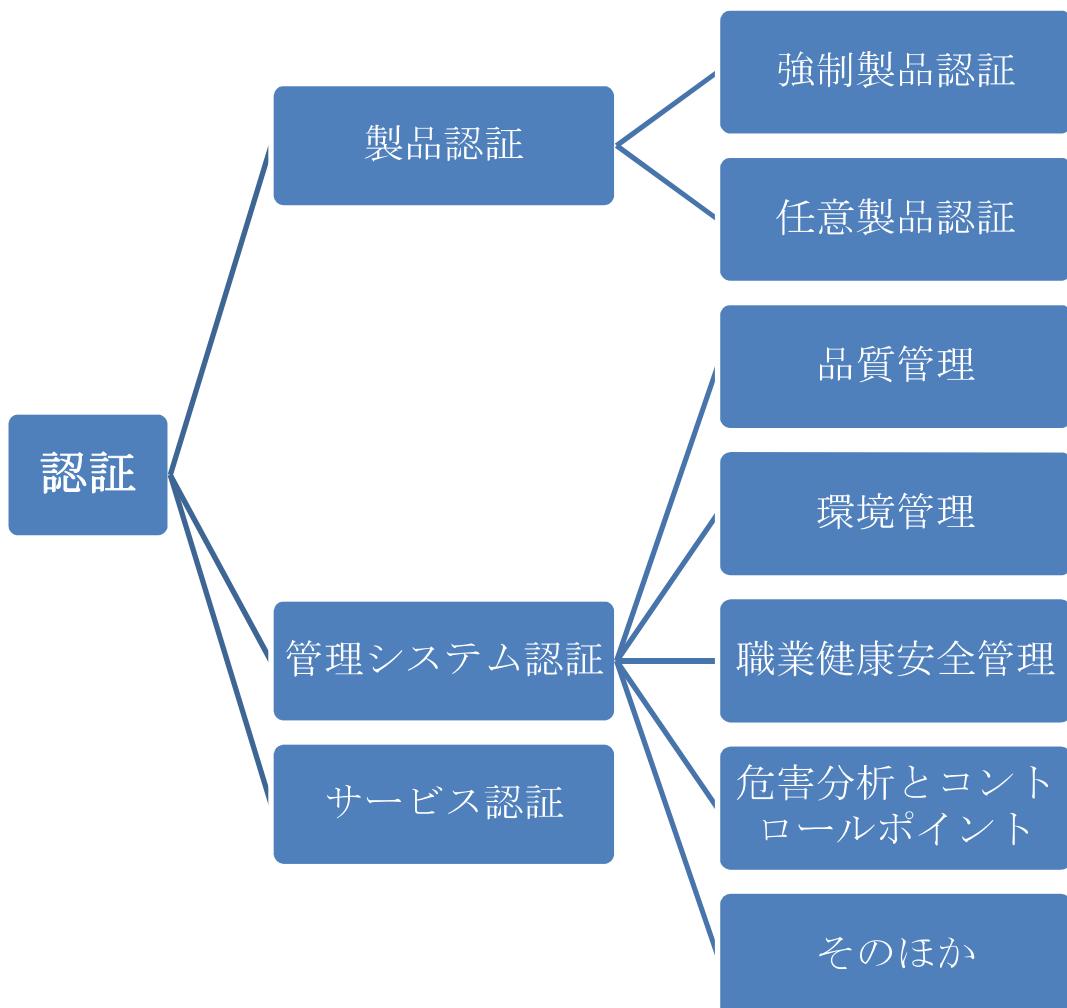


図 2 中国認証制度の概要

表 6 主な「認証」項目及び全体に対する割合  
(2012 年 6 月認証機構認可月報による)

「認証」項目	標準	「認証」数	割合
強制製品認証	「強制標準」	316045	50.036%
任意製品認証		9911	1.569%
品質管理システム認証	GB/T19001-2008/ISO9001:2008	198476	31.423%
環境管理システム認証	GB/T24001-2004/ISO14001:2004	52169	8.259%
職業健康安全管理システム認証	GB/T28001	33592	5.318%
		計 610193 総数 631629	96.605%

## 2-2 「強制製品認証」と「任意製品認証」

「強制製品認証」(China Compulsory Certification) は通称「3C 認証」であり、記号は「CCC」で、標識は図 3 である。

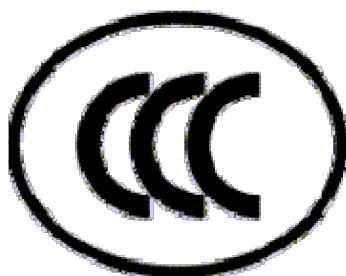


図 3 「強制製品認証」の標識

現在まで、「強制製品認証」の標識は以下の 4 種類に分かれており、サイズ上、5 種類の規格がある。図 4 には例として安全認証標識を示している。

1. CCC+S 安全認証標識
2. CCC+EMC 電磁兼容類認証標識
3. CCC+S&E 安全と電磁兼容認証標識
4. CCC+F 消防認証標識



図 4 安全認証標識

「強制製品認証」が必要な製品は国からリストで指定されている。今まで指定されたものは 23 分類、172 種目がある。

「強制製品認証」を行う機構及びそれぞれの「強制製品認証」の担当項目も「中国国家認証認可監督管理委員会」により指定されている。詳細は「中国 CCC 認証技術服务中心」のホームページ(<http://www.ccc-cn.org/index.htm>)を参照することができる。

「強制製品認証」リスト外の製品の認証は「任意製品認証」である。「任意製品認証」の標識は「認証」した機関の標識を用いる。

## 2-3 建築製品の「認証」

### 2-3-1 日本の認定制度との比較

中国での「製品認証」は現行の関連「標準」の「強制標準」部分を守っていることと、安定した生産能力及び品質保証を有することを認める行為である。ここでいう「標準」は「国家標準」、「業界標準」、該当地域の「地方標準」が含まれるが、学会や協会などにより発行されたものは含まれない（ヒアリング調査先 2）。また、具体的な生産体制を持たない、いわゆる OEM に対する「認証」が行われていない（ヒアリング調査先 1）。

「製品認証」は 2-2 で述べたように「強制製品認証」と「任意製品認証」に分かれている。

該当する「標準」がない製品に対しては原則的に「認証」が行えない。但し、それでも「認証」を受けたい場合は、以下の 2 ケースの対応があると言われている（ヒアリング調査先 1,2）。

- ① 「認証機構」は専門家委員会を立ち上げて必要な「標準」を作り、「国家標準化管理委員会」またはそのほかの「標準」発行権限をもつ部門に申請し、新たな「標準」を発行することで「認証」を行う。但し、このケースの実施は極めて困難だと言われている（ヒアリング調査先 1,2）。
- ② 「認証機構」または建築審査機関は専門家委員会を組織し、現行の関連「標準」をどれも違反していないこと及び要求される性能を満たしていることを証明する。この対応は構造設計分野にはよく運用されていると言われるが、建築製品への運用はあまりなく、一般的の「認証」との違いや具体的なプロセスについては今回の調査では未解明である。

中国では日本の「建築基準法」のような法律がないので、大臣認定に類似する仕組みは存在しない。「認証機構」から発行される「認証証書」は最高の証明である。

日本の旧 38 条認定に類似するものは上述した①または②が考えられるが、法規的に根拠があるのは①のみで、②については特殊運用ケースにしか過ぎないと考えられる。よって、②は建築製品の「認定」への運用が可能かどうか不明である。

また、中国では指定建築材料ではなく、日本の建築基準法 37 条認定に類似するものはない。加えて、型式適合認定に類似するものもない。

### 2-3-2 建築製品の「強制製品認証」

建築製品の内に、「強制製品認証」が必要なものは安全に関わる電気製品、消防製品、防犯製品及び、人体健康に関わる塗料、タイルなどがある。表 7 ではそれらの項目と「認証」の担当機関を示している。「強制製品認証」の番号は実施規則の番号であり、準拠する「標準」などは実施規則に定められている。

表 7 建築に関わる「強制製品認証」の項目及び担当機関

注：（ ）内は中国語名を示す。

「強制製品認証」の担当機関	「強制製品認証」項目
中国品質認証センター (中国語名：中国质量认证中心)	CNCA-01C-001 : 電線部品 CNCA-01C-002 : 電線 CNCA-01C-003 : 住宅用及び類似用途のプラグとコンセント CNCA-01C-004 : 住宅用及び類似用途の固定式電気装置のスイッチ CNCA-01C-005 : 工業用プラグとコンセントとカプラ CNCA-01C-006 : 住宅用及び類似用途のカプラ CNCA-01C-007 : 熱溶断体 CNCA-01C-008 : 住宅用及び類似用途の固定式電気装置及び部品、カバー CNCA-01C-009 : 小型熔断器的管状熔断体； CNCA-01C-010 : 弱電スイッチ設備セット CNCA-01C-011 : スイッチとコントロール設備 CNCA-01C-016 : 住宅用及び類似用途の設備 CNCA-01C-018 : 音声とテレビ信号のハブと部品 CNCA-01C-019 : 衛星放送アンテナーと機器 CNCA-01C-020 : IT 技術設備 CNCA-01C-022 : 照明電器 CNCA-04C-028 : 安全ガラス製品 CNCA-07C-031 : 電信末端設備 CNCA-10C-047 : 防犯製品 CNCA-12C-049 : 溶剤型木材用塗料

	CNCA-12C-050 : タイル
中国安全技術防犯認証センター (中国安全技术防范认证中心)	CNCA-10C-047 : 防犯製品 CNCA-10C-052 : 防犯警報コントローラー
中国建築材料検査認証集団株式有限会社 (中国建材检验认证集团股份有限公司)	CNCA-04C-028 : 安全ガラス製品 CNCA-12C-050 : タイル
北京中化連合認証有限会社 (北京中化联合认证有限公司)	CNCA-12C-049 : 溶剤型木材用塗料
公安部消防製品合格評定センター (公安部消防产品合格评定中心)	CNCA-09C-044 : 火災警報設備 CNCA-09C-045 : 消火パイプ CNCA-09C-046 : スプリングラー設備
北京国建連信認証センター有限会社 (北京国建联信认证中心有限公司)	CNCA-12C-050 : タイル CNCA-12C-051 : コンクリート凍結防止剤
方円標識認証集団 (方圆标志认证集团)	CNCA-12C-049 : 溶剤型木材用塗料 CNCA-12C-050 : タイル

### 2-3-3 建築製品の「任意製品認証」

現在、北京にて建築製品の認証業務をメインとした認証機構は四つあり、表 8 ではそれぞれの概要を示している。

表 8 建築製品の認証業務をメインとした認証機構

名 称：中国建築材料検査認証集団株式有限公司（母体：中国建築材料集団）  
中国語名：中国建材检验认证集团股份有限公司



英文略称：CTC  
住 所：北京市朝阳区管庄东里 1 号中国建材总院南楼  
郵便番号：100024  
電 話：010 51167983/7984/7681  
ファクシミリ：010 65715991  
ホームページ：<http://www.ctc.ac.cn/>  
業務範囲：「強制製品認証」（CCC）  
「システム認証」（ISO）  
建築材料・製品認証（CTC）

名 称：中国建築科学研究院認証センター（母体：中国建築科学研究院）  
中国語名：中国建筑科学研究院认证中心



英文略称：CABR  
住 所：北京市朝陽区北三環路 30 号  
ホームページ：<http://www.cabrc.com.cn/>  
業務範囲：建築製品認証（CABR）

名称：康居認証センター（母体：住宅都市農村建設部住宅産業化促進センター）  
中国語名：康居认证中心



英文略称：KCPC  
住 所：北京海淀区三里河路九号建設部北配樓南楼  
郵便番号：100835

電 話 : (10)58933761/58933570/58934347/15110271718/15001030998

ファクシミリ : (10)58933761

ホームページ : [www.chinahouse.gov.cn](http://www.chinahouse.gov.cn)

Email:kcpcc@chinahouse.gov.cn

業務範囲 : 建築製品／住宅部品認証（康居認証）

名 称 : 中国建築標準設計研究院認証センター（母体 : 中国建築標準設計研究院）

中国語名 : 中国建築标准设计研究院认证中心



英文略称 : CBSC

住 所 : 北京市海淀区首体南路 9 号主语国际 2 号楼

郵便番号 : 100082

電 話 : 010-68799000

ホームページ : <http://cbsc.com.cn/>

業務範囲 : 都市と農村建設製品認証 (CBSC)

「中国建築材料検査認証集団株式有限公司」の母体は、国有企業の大きな建材産業グループである。4 機構の中で唯一「強制製品認証」資格をもち、認証業務範囲の項目が多いが、セメントやコンクリート添加剤など建材をメインとしているようである。

「中国建築科学研究院認証センター」の母体「中国建築科学研究院」は、日本の独立行政法人建築研究所に相当するもので、今まで建築関連の「標準」、「規範」の制定を多く手がけてきた。研究的な長所を活かし、「認証」の実績からは構造関係のものも多く見られている。

「康居認証センター」の背景は政府機構の「住宅都市農村建設部住宅産業化促進センター」である。住宅産業化を推進してきた立場から、「認証」にも「建築製品／住宅部品」の概念を導入している。「認証」業務範囲内では構造に関わる建材が見られず、仕上げや設備や工事関連技術をメインとしている。元々、「康居モデルプロジェクト」というのは国が推進してきた住宅建設のプロジェクトなので、「康居モデルプロジェクト」に使用できる「建築製品／住宅部品」に対する「認証」は康居認証の位置づけである。勿論、「康居モデルプロジェクト」のみならず、ほかの工事への使用も薦める意味も含まれている。

「中国建築標準設計研究院認証センター」は、建築分野では中国のもう一つの国有企業である設計研究企業「中国建築標準設計研究院」に創設された機関である。業務対象は原材料や構造関連技術以外のものをメインとしている。業務担当は内部組織の「建築製品応用研究所」なので、建築製品に対して専門的な理解と評価が期待できる。

## 2-3-4 そのほかの「認証」

建築製品に対する省エネまたは環境保護の「認証」は代表的に下記の二つがある。これらは建築の角度から製品の性能を表さないが、政府購買の省エネまたは環境保護の基準項目になっている。

### ① 省エネ製品認証

これは「認証」の権威的な機構「中国標準化研究院」が主導し、「認証」するものである。建築に関わるものは図5に示された省エネ認証、節水認証、エコ認証（環境保護認証）、高効率照明認証がある。図6は建材市場に展示されている「節水認証」を受けたトイレの例である。

認証機構：中国省エネ製品認証センター（母体：中国標準化研究院）

中国語名：中国节能产品认证中心（中标认证中心）

英文略称：CSC

住 所：北京市海淀区知春路四号 邮编：100088

電 話：010-58811552

Email : office@cecp.org.cn

ホームページ：<http://www.cecp.org.cn/former/default.asp>



図5 省エネ、節水、エコ、高効率照明認証の標識



図6 建材市場に展示されている「節水認証」を受けたトイレ

## ② 中国環境標識

これは中国環境保護部が主導し、国家環境保護総局環境認証センターによる「認証」である。図7はその標識で、図8は建材市場で展示されているこの「認証」を取得した板材の例である。



図7 中国環境標識

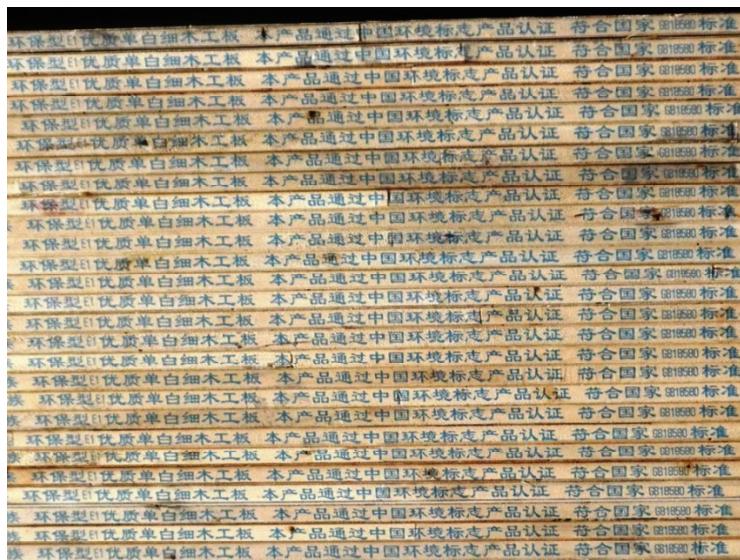


図8 中国環境標識を取得した板材

## 2-4 「認証」のプロセス、時間、費用

「製品認証」は製品検査と現場審査を行う。製品検査は委託する「認証機構」が指定する「認可検査機関」によって行い、検査報告書が発行される。現場審査は生産体制と品質保証体制に対する審査であり、「認証機構」により行われる。「製品認証」の期間は一般的に一ヶ月前後と言われている（ヒアリング調査先1）。

「強制製品認証」の費用は「中国国家認証認可監督管理委員会」により決められているので、どの「認証機構」から受けても同じである。「任意製品検査」の費用については、各「認証機構」が予め基準を制定しているが、個別事情も考慮して個々に対して見積を行う。建築製品の玄関ドアを例として、約2万人民元（約33万円 2013.7.11現在）と言われている（ヒアリング調査先1）。

## 2-5 「認証」以外の評価制度

建築製品において、「認証」以外にも行政機関などによる評価がある。法律に基づくものではないが、日本での一般財団法人日本建築センター（BCJ）の「建設技術審査証明」、「新建築技術認定」や、公益財団法人日本住宅・木材センターの「木造住宅合理化システム認定」などに相当するものだと思われる。

その代表的な例のひとつとして、住宅都市農村建設部科学技術発展促進センターにより行われた「建設業界科学技術成果評価」がある。因みに、このセンターは1997年当時の建設部から指定された、建築における輸入技術と製品の技術性、経済性に対する評価を担当する機関でもある。

この評価は「認証」と同じく、「国家標準」、「業界標準」、「企業標準」に準拠するほか、以下のような目的が定められている。

1. 当該成果の技術的レベルと実用性に対する評価
2. 当該成果の量産能力に対する評価
3. 当該成果の運用を推奨

つまり、この評価は「標準」との合致のほか、「標準」には反映されない技術レベルと実用性に関しても客観的に評価されることと、実際の運用に結びつくことにも期待できるものだと考えられる。

評価を担当する前述のセンターの連絡先を以下に示す。

評価機構：住宅都市農村建設部科学技術発展促進センター

中国語名：住宅与城乡建设部科技发展促进中心

英文略称：STC

住 所：北京市海淀区三里河路9号建设部南配楼 邮编：100835

電 話：010-58934206 58933631

ファクシミリ：010-58934406

ホームページ：<http://www.cstcmoc.org.cn/index.html>

### §3 建築製品の「認証」と流通

#### 3-1 建築製品の「認証」と運用

中国では、「強制認証製品」として指定されたもの以外は法規的に認証製品を使わなければならない規定がない。但し、企業の自己アピールのほか、「認証製品」の使用が要求、推奨されることがある。

「グリーン建築評価標準」(GB/T 50378-2006)の認証には、省エネ、節水、エコの項目に該当する「認証製品」の使用が要求される。近年、グリーン建築の数は急激に増え(図9)、該当する「認証製品」の必要性も高まってきている。

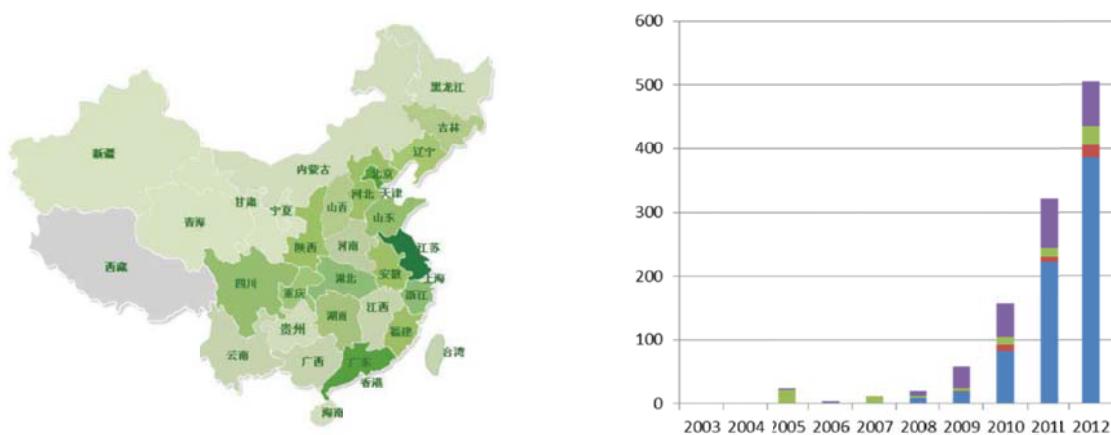


図9 中国グリーン建築の数の推移と分布

(出典：2013年清華大学修士論文 王虹光)

また、住宅都市農村建設部住宅产业化促進センターは「康居モデルプロジェクト」の審査に「康居認証製品」の使用を義務づけている。

#### 3-2 建築製品選び

中国の住宅建築工事には、一般的に建築製品を選ぶ権限は施主、デベロッパーまたはエンドユーザーにある。設計は基本設計及びスケルトンまでの実施設計のみを担当し、主に躯体関係の仕様しか決めない。工事もほとんど分離発注なので、例えばサッシ、エレベーターなども施主またはデベロッパーが仕様を選択し、それぞれの業者に対して個別に発注する。また、住宅はスケルトンで発売され、内装仕上げ製品の選択権限はエンドユーザーに持たされている。

日本に比べて、中国の建築製品市場は分散的で、設計のまとめの役割が弱く、建材商社も少ない。特に内装設備に関してはエンドユーザーに対する店頭販売になることが多い。

3-3 建材市場

図 10 は北京市内にある建材市場の分布図である。それぞれの建材市場も日本のホームセンターの数倍、十数倍の営業面積を持ち、数百のメーカーの展示販売ブースがある。主な顧客はエンドユーザーと内装の工務店である。図 11 は展示されている商品例である。

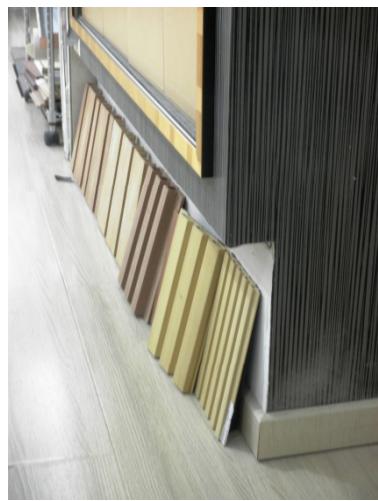


図 10 北京市内にある建材市場の分布図

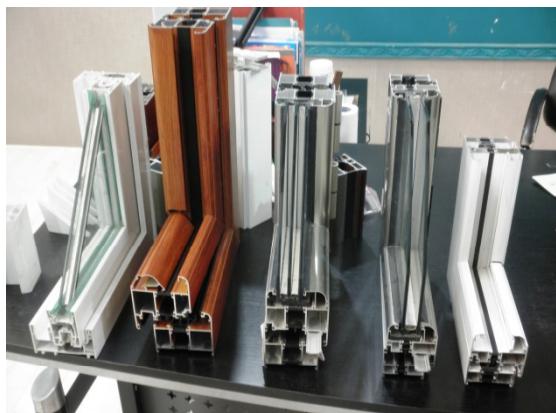
(出典：新浪網 <http://bj.house.sina.com.cn/2004-06-14/41022.html>)



玄関ドア



押し出し天井材



窓サッシ



木板材



木製浴槽



浴室排水口



ロック



電気給湯器



防犯設備



リブ鋼材と木材



和室セット

図 11 建材市場に展示されている商品例

## § 4 住宅及び建築製品に関する政策と活動

### 4-1 「康居モデルプロジェクト」

「康居モデルプロジェクト」は 1999 年から、住宅建設技術の向上、部品化の推進などを目的として実施されてきたプロジェクトである。主管は「住宅都市農村建設部住宅産業化促進センター」で、各地の業者の報告を審査し、国のモデルプロジェクトとして採択する。「康居モデルプロジェクト」になる技術的条件のひとつは、一定の割合で § 4 にて述べた康居認証センターにより「建築製品／住宅部品認証」を取得した製品または部品を採用することである。

付録資料 1 は「住宅都市農村建設部住宅産業化促進センター」による「国家康居モデルプロジェクトにおいて康居製品認証を推進する通知 2009 年」及び「国家康居モデルプロジェクトに用いる部品と製品リスト（抜粋）」（中国語）である。

### 4-2 グリーン建築

グリーン建築は 2006 年から実施されてきたプロジェクトで、「省エネ、節地、節水、節材、環境保護」をキーワードとしている。主管は「住宅都市農村建設部科学技術発展促進センター」で、中央と地方の補助金制度と連動している。

付録資料 2 は「グリーン建築評価標準 GB/T 50378-2006」である。

### 4-3 「中国不動産業新方向の創出」

今年も「住宅都市農村建設部」に所属する新聞社「中国建設新聞・中国住宅」により「2013 中国不動産業新方向の創出」のコンクールが行われる。この活動は 1999 年からほぼ毎年、その年の課題に沿って行われてきた。今年は既に 7 月 10 日に締切ったが、住宅開発及び部品類における賞が設けられ、「国際不動産業新方向の創出」賞も新設されている。これは、これから日本の建築製品の進出と普及に利用できる活動になると思われる。

付録資料 3 はこの活動の募集要項である。

#### **ヒアリング調査先 :**

1. 中国建築標準設計研究院認証センター
2. 住宅都市農村建設部住宅産業化促進センター
3. 康居認証センター
4. 方円標識認証集団
5. 中国建築科学研究院

#### **建材市場調査 :**

北京市内建材市場多数

昆明市内建材市場

#### **調査者略歴 :**

吳 東航（ウー ドンハン）

博士（工学）、一級建築士、構造設計一級建築士

株式会社吳建築事務所代表、建築環境ワークス協同組合（A/E WORKS）専務理事、NPO 法人みんなの住まい理事

1963 年中国広州市生まれ、1984 年中国華南理工大学卒業。1987 年日本に留学。1994 年東京大学大学院博士課程修了。黒沢建設㈱を経て 1997 年より現職。ポリテクセンター関東非常勤講師。2013 年 3 月から 5 月まで中国清華大学建築学院客員教授に就任、本調査はその就任中に行ったものである。

#### **主な著書 :**

「よくわかる！建築」PHP 研究所 2006 年 共著

「日本住宅建設と産業化」中国建築工業出版社 2009 年 主編 共著

「耐火木造[計画・設計・施工]マニュアル」株式会社エクスナレッジ 2012 年 共著

「よくわかる 住まいの耐震・制振工法」住まいの学校 2012 年

付録資料1：「国家康居モデルプロジェクトにおいて康居製品認証を推進する通知 2009年」及び「国家康居モデルプロジェクトに用いる部品と製品リスト（抜粋）」

# 住房和城乡建设部住宅产业化促进中心

建住中心〔2009〕12号

## 关于在国家康居住宅示范工程中推行康居产品认证的通知

各有关单位：

为贯彻国务院办公厅《关于推进住宅产业现代化，提高住宅质量若干意见》、住房和城乡建设部《关于推动住宅部品认证工作的通知》、《国家康居住宅示范工程实施大纲》等文件精神，为保证国家康居住宅示范工程的顺利实施，提高住宅建设质量，推进建设资源节约型社会、发展省地节能型住宅，经研究决定，在国家康居住宅示范工程中推行住宅产品认证工作，现将有关事项通知如下：

一、申请国家康居住宅示范工程的开发建设单位，在项目申请前，要初步确定项目拟采用的住宅产品，并根据要求，督促相关生产企业申报康居认证。

二、康居示范项目中使用一定比例的获得康居认证的产品。其比例为不低于该项目所采用全部建筑产品类别的10%。

三、在方案评审阶段，申请方应填写项目拟采用认证产品的规格型号、执行标准、生产企业信息表。

四、在中期检查和验收阶段，国家康居住宅示范工程的开发建设单位，要提供项目采用康居认证产品的认证证书。

五、认证产品应用情况，将作为项目达标验收考核指标的重要内容。

#### 六、联系方式

地 址：北京市海淀区三里河路 9 号

单 位：住房和城乡建设部住宅产业化促进中心产品认证处

邮 编：100835

电 话：010-58934347, 010-58933761

联 系 人：刘敬疆、张旭东

附件一：住宅产品认证的说明

附件二：康居认证范围和办法

附件三：认证产品信息表



## 附件一：

### 住宅产品认证的说明

住宅产品认证是依据现行的技术标准和产品认证实施规则，由认证机构证明产品、服务符合相关技术规范、相关技术规范的强制性要求或者标准的合格评定活动。推行住宅产品认证是建设资源节约型社会，发展省地节能型住宅和公共建筑的重要措施，是适应国际认证惯例的具体要求。开展住宅产品认证有利于有关标准的贯彻执行；有利于打击假冒伪劣住宅部品，规范市场秩序；有利于我国住宅产品及产品生产企业向标准化、产业化方向发展；有利于住宅成套技术的良好运用；有利于住宅质量的保证。此项工作开展以来，受到了各地开发、设计、施工企业和住宅产品生产企业的积极响应和认同，获得认证的产品在国家康居住宅示范工程建设中也得到大量的选用，对推动我国住宅产业的技术进步发挥了积极作用。

附件二：

### 康居认证范围和办法

康居认证的范围包括：墙体保温材料、建筑砌块、建筑门窗及配套件、木结构规格材及配件、建筑涂料及腻子、防水卷材、隔墙、厨房家具、地板、散热器、建筑管件及管材、墙体部品、屋顶部品、太阳能系列产品、暖通系列节能产品、可再生能源利用系列产品以及各类“四节环保”产品等种类。

申请康居认证的单位可通过网上（[www.kcpc.gov.cn](http://www.kcpc.gov.cn)）直接申报，也可向住房和城乡建设部住宅产业化促进中心产品认证处索取申请书，可以通过网络解认证流程、认证收费标准、认证实施规则以及认证程序等各类公开文件。将填写后的申请书和所需的相关材料装订成册（一式两份），报送住宅产业化促进中心产品认证处。

附件三： 认证产品信息表

表一：项目评审阶段：

一、基本情况：

1. 项目名称：\_\_\_\_\_

2. 项目建设地：\_\_\_\_\_

3. 开发建设单位名称：\_\_\_\_\_

4. 开发建设单位法人：\_\_\_\_\_

5. 认证工作联系人：\_\_\_\_\_ 电子邮件：\_\_\_\_\_

联系电话：\_\_\_\_\_ 手机：\_\_\_\_\_

6. 项目计划实施进度时间：

\_\_\_\_\_年\_\_\_\_月，中期检查； \_\_\_\_\_年\_\_\_\_月 验收。

## 二、选用认证产品情况：

填表人：

电话：\_\_\_\_\_

日期：\_\_\_\_\_

注：请于评审之日起45天内将此表反馈到住宅产业化促进中心，传真：010-589933285，010-589933761

表二、国家康居示范工程中期检查选用认证产品情况表

项目名称：\_\_\_\_\_ 项目联系人：\_\_\_\_\_ 电话：\_\_\_\_\_

THE JOURNAL OF CLIMATE

审查专家：

住宅中心：

**附件：**

**国家康居示范工程选用部品与产品目录**

产品类别	证书编号	产品名称	申报单位
厨卫部品体系	03-C10-001	卫生陶瓷	重庆四维瓷业(集团)股份有限公司
厨卫部品体系	03-C10-002	家用燃气壁挂炉	默洛尼卫生洁具(中国)有限公司
厨卫部品体系	03-C10-003	电脑洁身器	上海斯盛电器有限公司
厨卫部品体系	03-C20-001	厨房家具	广州欧派厨柜企业有限公司
厨卫部品体系	03-C20-003	抽油烟机	杭州老板实业集团有限公司
厨卫部品体系	03-C20-004	燃气灶	杭州老板实业集团有限公司
内装部品体系	03-N10-001	纸面石膏板及配套系统	杰科(上海)有限公司
内装部品体系	03-N10-002	小憨豹TM室内吊顶	欧文斯科宁(中国)投资有限公司
内装部品体系	03-N10-003	轻质混凝土墙板	深圳市胜德意新型墙材发展有限公司
内装部品体系	03-N10-004	植物纤维强化空心墙板 (内隔墙)及饰件	北京天泽建材有限公司
内装部品体系	03-N30-001	实木地板(素板)	浙江省湖州市南浔好运木业有限公司
内装部品体系	03-N30-002	实木地板(素板)	湖州市南浔方圆木业有限公司
内装部品体系	03-N30-003	实木地板(素板)	湖州创鑫地板有限公司
内装部品体系	03-N30-004	实木地板	上海佳励木业有限公司
内装部品体系	03-N30-005	实木地板	苏州同方木业有限公司
内装部品体系	03-N30-006	实木地板	上海惠德木业有限公司
内装部品体系	03-N30-007	实木地板	南海精诚木业有限公司
内装部品体系	03-N30-008	实木地板(素板)	湖州市南浔宇华木业有限公司
内装部品体系	03-N30-009	实木地板	杭州明成木业有限公司
内装部品体系	03-N30-010	实木地板	湖州绿岛木业有限公司
内装部品体系	03-N30-011	实木复合地板	上海禾于新型建材有限公司
内装部品体系	03-N30-013	实木地板	苏州麦道木业有限公司
内装部品体系	03-N30-014	实木地板	上海安信地板有限公司
内装部品体系	03-N30-015	实木地板	菲林格尔木业(上海)有限公司
内装部品体系	03-N30-016	实木地板(素板)	上海星林木业有限公司
内装部品体系	03-N30-017	实木地板(素板)	湖州长方木业有限公司
内装部品体系	03-N30-018	实木地板	湖州市南浔红星木业有限公司
内装部品体系	03-N30-023	瓷质抛光砖	重庆市涪陵建筑陶瓷集团有限公司
内装部品体系	03-N30-024	内墙水性乳胶漆	青岛派超环保漆业有限公司
内装部品体系	03-N30-027	呵哈牌内墙乳胶漆	佛山市日丰企业有限公司

产品类别	证书编号	产品名称	申报单位
内装部品体系	03-N30-029	实木地板(素板)	武汉市佳佳乐装饰材料有限公司
内装部品体系	03-N30-030	实木地板(素板)	上海汇琴地板有限公司
内装部品体系	03-N30-031	实木锁扣地板	上海菱格木业有限公司
内装部品体系	03-N30-032	强化木地板	菲林格尔木业(上海)有限公司
内装部品体系	03-N30-033	实木地板(素板)	上海华泾地板有限公司
内装部品体系	03-N30-034	实木地板(素板)	上海浦江联合木材厂
内装部品体系	03-N30-035	实木地板(素板)	上海誉丰实业有限公司
内装部品体系	03-N30-036	实木地板	上海富恒木业有限公司
小区配套部品体系	03-P10-001	复合材料检查井盖	临安市钱王道路设施有限公司
小区配套部品体系	03-P40-001	HYW 微生物有机垃圾处理机及微生物菌种	上海恒晔生物科技有限公司
设备部品体系	03-S10-003	新型铸铁散热器	北京派捷散热器有限公司
设备部品体系	03-S10-008	低温辐射电热膜	北京凯莱瑞克采暖设备有限公司
设备部品体系	03-S10-009	低温辐射发热电缆	北京凯莱瑞克采暖设备有限公司
设备部品体系	03-S10-010	红外辐射采暖器	大连现代采暖设备安装工程有限公司
设备部品体系	03-S20-004	三型聚丙烯PP-R管材、管件	上海津源环保建材有限公司
设备部品体系	03-S20-007	变频调速无吸程(无负压)管网增压给水设备	青岛三利设备工程有限公司
设备部品体系	03-S20-008	铝塑复合管及管件	浙江铭仕管业有限公司
设备部品体系	03-S30-001	热水锅炉	北京兆华锋锅炉制造有限公司
设备部品体系	03-S40-001	高低压开关设备	常熟开关制造有限公司
设备部品体系	03-S40-002	低压元器件(CM1、CW1)	常熟开关制造有限公司
设备部品体系	03-S40-003	镜前灯具、吸顶灯具及嵌入式灯具	浙江阳光集团股份有限公司
设备部品体系	03-S40-004	低压电器元器件	杭州之江开关有限公司
设备部品体系	03-S40-005	PZ26 系列终端组合电器箱	上海华航电气有限公司
设备部品体系	03-S40-006	高低压成套开关设备	浙江杭申电气集团有限公司 杭州之江开关有限公司
设备部品体系	03-S40-008	GCKL-B.C 低压抽出式开关柜	广东省顺德开关厂有限公司
设备部品体系	03-S40-009	仪器仪表	浙江德力西仪器仪表有限公司
设备部品体系	03-S40-010	高、低压成套设备	上海德力西集团有限公司
设备部品体系	03-S40-011	高、低压电器元件	德力西集团有限公司
设备部品体系	03-S40-012	电器附件	浙江德力西国际电工有限公司
设备部品体系	03-S70-001	全天候太阳能热水系统装置	北京九阳实业公司
设备部品体系	03-S70-002	管道防冻式太阳能热水器	江苏淮阴辉煌太阳能有限公司
设备部品体系	02-S80-055	PP-R 管材、管件	临海市伟星新型建材有限公司

产品类别	证书编号	产品名称	申报单位
外围护部品体系	03-W10-001	STA 弹性隔热带、防水涂料	上海斯泰安涂料有限公司
外围护部品体系	03-W10-002	STA2000 高弹性复合丙烯酸乳液型外墙涂料	上海斯泰安涂料有限公司
外围护部品体系	03-W10-003	STA2000 复合丙烯酸类塑钢门窗型材着色剂	上海斯泰安涂料有限公司
外围护部品体系	03-W10-005	TS20 复合保温材料	哈尔滨天硕建材工业有限公司
外围护部品体系	03-W10-006	AOBD 玻纤彩砂瓦	欧柏科技发展(北京)有限公司
外围护部品体系	03-W10-007	LRES 胶钙干拌抹灰砂浆	北京汇昕伟业科技发展有限公司
外围护部品体系	03-W30-002	琉璃瓦(烧结瓦)	嘉泰陶瓷(广州)有限公司
外围护部品体系	03-W30-004	RC-GUARD(堪能)混凝土防水防护剂	北京三珠企画高科技有限公司
外围护部品体系	03-W30-005	涂膜防水材料	北京东方凌大防水工程技术有限公司
外围护部品体系	03-W30-006	聚合物水泥防水涂料	北京华明防水防火科技有限公司
外围护部品体系	03-W40-011	防火门、防盗门	大连金房子门窗制造有限公司
外围护部品体系	03-W40-013	钢质防火门	中国建设物资北京经济技术贸易有限公司 牡丹江市金德门业有限公司
外围护部品体系	03-W40-014	防盗安全门	中国建设物资北京经济技术贸易有限公司 牡丹江市金德门业有限公司
外围护部品体系	03-W50-002	呵哈牌外墙涂料	佛山市日丰企业有限公司
智能化部品体系	03-Z20-002	楼宇可视对讲系统	厦门市振威安全技术发展有限公司
智能化部品体系	03-Z20-003	GST-DJ6000 可视对讲系统	海湾安全技术股份有限公司
智能化部品体系	03-Z30-001	GST-XQ6000 住宅小区智能化系统	海湾安全技术股份有限公司
智能化部品体系	03-Z30-002	易家 icHome-2000 家庭智能信息终端	上海铭源数码股份有限公司
智能化部品体系	03-Z30-003	综合布线及小区、家庭布线系统	南京普天楼宇智能化有限公司
智能化部品体系	03-Z30-004	家庭信息配线箱	上海华航电气有限公司
智能化部品体系	03-Z30-005	NPX08 型智能家居管理系统	顺德市斯域通科技有限公司
智能化部品体系	03-Z30-006	家庭智能终端及抄表系统	合肥永信科翔智能技术有限公司

附件：

## 国家康居示范工程选用部品与产品目录

产品类别	证书编号	产品名称	申报单位
支撑与围护部品(件)体系	04-Z10-001	焊接H型钢	新疆八钢钢结构有限公司
支撑与围护部品(件)体系	04-Z10-002	抗震低层楼房加层结构——刚柔性隔震减震消震装置	北京泰中抗震技术实施有限公司
支撑与围护部品(件)体系	04-Z10-003	CL建筑体系	石家庄晶达建筑体系有限公司
支撑与围护部品(件)体系	04-Z10-004	混凝土多孔砖	浙江省发展新型墙体材料办公室 福建泉州鸿昌机械制造有限公司
支撑与围护部品(件)体系	04-Z10-005	混凝土小型空心砌块	瑞尔斯达(天津)现代建材有限公司
支撑与围护部品(件)体系	04-Z10-006	轻集料混凝土小型空心砌块	瑞尔斯达(天津)现代建材有限公司
支撑与围护部品(件)体系	04-Z20-001	彩色改性沥青瓦	德州双环建材有限公司
支撑与围护部品(件)体系	04-Z20-002	拉法基屋面系统	拉法基屋面系统(中国)有限公司
支撑与围护部品(件)体系	04-Z20-003	欧式连锁瓦	淄博鑫源建陶有限公司
支撑与围护部品(件)体系	04-Z20-004	永得宁屋面系统	永得宁国际贸易(上海)有限公司
支撑与围护部品(件)体系	04-Z30-001	多孔蒸压灰砂砖	江阴金砖建材有限公司
支撑与围护部品(件)体系	04-Z30-002	外贴膨胀聚苯板薄抹聚合物抗裂砂浆外墙外保温体系	北京亿丰豪斯沃尔新型建材有限公司
支撑与围护部品(件)体系	04-Z30-003	轻型钢结构 ASA板镶嵌式集成节能建筑体系	北京华丽联合高科技(集团)有限公司
支撑与围护部品(件)体系	04-Z30-004	外墙乳胶漆	广州佐敦远洋制漆有限公司
支撑与围护部品(件)体系	04-Z30-005	金属面聚苯乙烯夹芯板	新疆八钢钢结构有限公司
支撑与围护部品(件)体系	04-Z30-006	AJ胶粉聚苯颗粒保温隔热砂浆及应用技术	武汉奥捷新型建材有限公司
支撑与围护部品(件)体系	04-Z30-007	193聚氨酯彩色防水保温系统	上海克络蒂涂料有限公司
支撑与围护部品(件)体系	04-Z30-008	PARA陶瓷隔热涂料	上海福凯实业有限公司
支撑与围护部品(件)体系	04-Z30-009	聚合物保温砂浆	宁波荣山新型材料有限公司
支撑与围护部品(件)体系	04-Z30-010	阿科太(AKT)墙板	深圳阿科太新型建材有限公司
支撑与围护部品(件)体系	04-Z30-011	房屋专用保温涂料	沈阳伊洋建筑材料有限公司
支撑与围护部品(件)体系	04-Z30-013	HL外墙保温砂浆	南京天亚新材料有限公司
支撑与围护部品(件)体系	04-Z30-015	隔热保温防水涂料	中山市宝盈建筑材料有限公司
支撑与围护部品(件)体系	04-Z30-016	外墙墙面漆	中山市宝盈建筑材料有限公司
支撑与围护部品(件)体系	04-Z30-017	胶粉聚苯颗粒外墙外保温系统	廊坊兴达新型保温材料有限公司
支撑与围护部品(件)体系	04-Z40-001	65组合系列、70复合系列铝塑窗	黑龙江省大力实业有限公司
支撑与围护部品(件)体系	04-Z40-002	PVC塑料门窗及型材	安徽国风塑料建材有限公司
支撑与围护部品(件)体系	04-Z40-003	玻璃纤维增强塑料(玻璃钢) 平开窗及型材	东营朗东新型建材有限公司
支撑与围护部品(件)体系	04-Z40-004	钢木安全工艺门	宁波美丽佳金属结构有限公司
支撑与围护部品(件)体系	04-Z30-012	梦迩牌外墙漆	杭州长城精细化工有限公司
支撑与围护部品(件)体系	04-Z30-014	高级水性聚氨酯系列漆	杭州长城精细化工有限公司

产品类别	证书编号	产品名称	申报单位
内装部品体系	04-N10-001	沃德轻质复合墙板及装饰性防火板	黑龙江沃德建材科技(集团)有限公司
内装部品体系	04-N10-002	石膏砌块整体墙	北京力博特尔建筑材料技术有限公司
内装部品(件)体系	04-N30-001	釉面墙砖	佛山市雁牌陶瓷有限公司
内装部品(件)体系	04-N30-002	釉面墙砖	佛山市凡第诺陶瓷有限公司
内装部品(件)体系	04-N30-003	实木地板	无锡梓光木业有限公司
内装部品(件)体系	04-N30-004	实木地板	上海环亚木制品有限公司
内装部品(件)体系	04-N30-005	实木地板	上海森王木业有限公司
内装部品(件)体系	04-N30-006	实木地板	上海富坤木业有限公司
内装部品(件)体系	04-N30-007	实木地板	上海超然木业有限公司
内装部品(件)体系	04-N30-008	实木地板(素板)	湖州华源木业有限公司
内装部品(件)体系	04-N30-009	内墙乳胶漆	上海金得丽涂料有限公司
内装部品(件)体系	04-N30-010	内墙乳胶漆	上海三银制漆有限公司
内装部品(件)体系	04-N30-011	实木地板(素板)	合肥中舒木业有限公司
内装部品(件)体系	04-N30-014	强化复合木地板	乐山吉象人造林制品有限公司
内装部品(件)体系	04-N30-015	LOW-E隔热环保内墙涂料	上海福凯实业有限公司
内装部品(件)体系	04-N30-016	瓷质抛光砖	佛山市高明区雅居陶瓷有限公司
内装部品(件)体系	04-N30-017	乳胶漆	杭州金博光明装饰涂料工程有限公司
内装部品(件)体系	04-N30-018	实木复合地板	菲林格尔木业(上海)有限公司
内装部品(件)体系	04-N30-019	高级内墙乳胶漆	中山市宝盈建筑材料有限公司
内装部品(件)体系	04-N30-020	系统家具	菲林格尔木业(上海)有限公司
内装部品(件)体系	04-N40-001	安泽达达新型自动密封式地漏	北京中房耐克森科技发展有限公司
内装部品(件)体系	04-N40-002	磁性密闭地漏系列和多通道地漏系列	浙江嵊州市化工五金实业公司
内装部品(件)体系	04-N40-003	节水型座便器及水箱配件	佛山市南海益高卫浴有限公司
内装部品(件)体系	04-N50-001	集成环保灶	浙江美大厨具有限公司
内装部品(件)体系	04-N50-002	住宅厨房卫生间排烟(气)道	北京市居安建筑材料厂
内装部品(件)体系	04-N50-003	整体厨房	宁波欧琳厨具有限公司
内装部品(件)体系	04-N50-004	整体厨柜	菲林格尔木业(上海)有限公司
内装部品(件)体系	04-N50-005	住宅厨卫 ZDA 整体系统通风排气道	北京金盾华通建材有限公司
内装部品(件)体系	04-N50-006	厨房废物处理机	镇江美佳马达有限公司
内装部品(件)体系	04-N50-007	厨房家具	镇江市豪威文教橱柜设备有限公司
内装部品(件)体系	04-N50-008	电热水器	青岛经济技术开发区海尔热水器有限公司
内装部品(件)体系	04-N50-009	家用燃气快速热水器	青岛经济技术开发区海尔热水器有限公司
内装部品(体)系	04-N10-003	德凯脱硫石膏砌块	北京泛华德凯建材有限公司 北京国化杰地动力技术有限公司

产品类别	证书编号	产品名称	申报单位
内装部品(体)系	04-N30-021	瓷质砖	佛山石湾鹰牌陶瓷有限公司
内装部品(体)系	04-N30-022	釉面砖	佛山石湾鹰牌陶瓷有限公司
内装部品(体)系	04-N40-004	卫生洁具	佛山石湾鹰牌陶瓷有限公司
设备部品(件)体系	04-S10-001	全铜水道散热器	沈阳市吉水暖气片厂
设备部品(件)体系	04-S10-002	铜铝复合散热器	高密市中亚暖通设备有限公司
设备部品(件)体系	04-S10-004	内防腐钢管散热器	兰州陇星散热器有限公司
设备部品(件)体系	04-S10-005	钢管铝翼散热器	兰州陇星散热器有限公司
设备部品(件)体系	04-S10-006	铝制散热器	银川市艾尼散热器有限公司
设备部品(件)体系	04-S10-008	镁铝合金镍磷防腐散热器	恒暖科技(北京)有限公司
设备部品(件)体系	04-S10-009	铜铝柱型辐射对流散热器	冀州市暖通空调有限责任公司
设备部品(件)体系	04-S10-010	钢铝复合散热器	乌鲁木齐金彩暖通设备有限公司
设备部品(件)体系	04-S10-011	内腔无粘砂铸铁散热器	河北圣春散热器股份有限公司
设备部品(件)体系	04-S10-012	柯宁加热电缆	北京华世通实业有限公司
设备部品(件)体系	04-S10-014	热量表	苏州金海博电子有限公司
设备部品(件)体系	04-S10-015	高层建筑供暖空调水系统静压隔断成套设备	北京金贝林科技有限公司
设备部品(件)体系	04-S10-016	电热取暖器	哈尔滨新太阳电器有限公司
设备部品(件)体系	04-S10-017	铜铝复合铝翼散热器	冀州市福星暖气片有限责任公司
设备部品(件)体系	04-S10-018	钢制柱型散热器	冀州市福星暖气片有限责任公司
设备部品(件)体系	04-S10-019	松下智能变频多联机	广州松下空调器有限公司
设备部品(件)体系	04-S10-020	智能数码采暖计费表	西安巅峰实业有限公司
设备部品(件)体系	04-S20-001	HAF系列一体化污水处理设备	北京汇恒环保工程有限公司
设备部品(件)体系	04-S20-002	纯水机	北京普亚特环保科技有限公司
设备部品(件)体系	04-S20-003	家用中央水调	昆明太空水技术工程有限公司
设备部品(件)体系	04-S20-004	多功能直饮水装置	北京中房水杯子工程技术有限公司
设备部品(件)体系	04-S20-005	阿科蔓生态水环境处理系统	广州阿科蔓生态环境技术有限公司
设备部品(件)体系	04-S20-006	聚偏氟乙烯中空纤维微孔膜及成套装置	天津膜天膜科技有限公司
内装部品(件)体系	04-S30-001	燃气热水器	上海能率有限公司
设备部品(件)体系	04-S30-002	不锈钢阀门	河北省沧州市光德不锈钢阀业有限公司
设备部品(件)体系	04-S40-001	预装式变电站	正泰集团成套设备制造有限公司
设备部品(件)体系	04-S40-002	低压配电柜	正泰集团成套设备制造有限公司
设备部品(件)体系	04-S40-003	NXB系列配电箱	正泰集团成套设备制造有限公司
设备部品(件)体系	04-S40-004	电度表(系列)	正泰集团仪器仪表有限责任公司
设备部品(件)体系	04-S40-005	断路器(系列)	正泰集团电器股份有限公司
设备部品(件)体系	04-S40-006	高分断小型断路器、漏电断路器	佛山市梅兰日兰电气有限公司
设备部品(件)体系	04-S40-007	电器附件	浙江正泰建筑电器有限公司
设备部品(件)体系	04-S40-008	墙壁开关、插座	山东达驰(三河)科技发展有限责任公司
设备部品(件)体系	04-S40-009	旋转式安全电源插座	北京亿马时代电工科技有限公司

产品类别	证书编号	产品名称	申报单位
设备部品(件)体系	04-S40-010	智能式塑壳断路器	上海天宇电气有限公司
设备部品(件)体系	04-S40-011	电器附件(开关、插座)	宁波灵象电器有限公司
设备部品(件)体系	04-S40-012	电器附件	杭州鸿雁电器有限公司
设备部品(件)体系	04-S40-013	DZ47-63 小型断路器	乐清市绿洲电气制造有限公司
设备部品(件)体系	04-S40-014	PVC 电工导管及线槽	杭州鸿雁电器有限公司
设备部品(件)体系	04-S40-015	电线电缆	杭州鸿雁电器有限公司
设备部品(件)体系	04-S40-016	智能照明系统	东莞百分百科技有限公司
设备部品(件)体系	04-S40-017	高、低压成套开关设备	常州东方三环电气有限公司
设备部品(件)体系	04-S60-001	乘客电梯	西子奥的斯电梯有限公司
设备部品(件)体系	04-S60-004	家用液压电梯	苏州东南液压电梯有限公司
设备部品(件)体系	04-S60-005	无机房电梯	江苏康力电梯集团有限公司
设备部品(件)体系	04-S60-007	乘客电梯	张家港富佳电梯有限公司
设备部品(件)体系	04-S60-008	迅达无机房乘客电梯	迅达(中国)电梯有限公司
设备部品(件)体系	04-S60-009	乘客电梯	蒂森电梯有限公司
设备部品(件)体系	04-S70-001	中央液态冷热源环境系统	北京恒有源科技发展有限公司
设备部品(件)体系	04-S70-002	电工太阳能热水器/热水系统	南京华东电子太阳能科技有限公司
设备部品(件)体系	04-S70-003	太阳能优先智能全天候热水系统	北京市太阳能研究所
设备部品(件)体系	04-S70-004	环保节能智能全天候热水系统	杭州锦江光能有限公司
设备部品(件)体系	04-S70-005	建材型太阳能集热板	天津市奇信太阳能科技有限公司
设备部品(件)体系	04-S70-006	平板式太阳能聚光集热器	福建省三明市聚光太阳能有限公司
设备部品(件)体系	04-S70-007	太阳能中央热水器	福州康安康合太阳能技术开发有限公司
设备部品(件)体系	04-S70-008	桑力牌太阳能热水器	盐城市桑力太阳能工业有限公司
设备部品(件)体系	04-S70-010	新元热板太阳节能热水系统	昆明新元阳光科技有限公司
设备部品(件)体系	04-S80-001	SD-980 型智能楼宇可视对讲报警网络系统	深圳市视得安科技实业股份有限公司
设备部品(件)体系	04-S80-002	SD-2000 型可视智能网络监控系统	深圳市视得安科技实业股份有限公司
设备部品(件)体系	04-S80-003	指纹防盗锁	嘉兴市蓝洋科技电子有限公司
设备部品(件)体系	04-S80-006	TOP2000 家庭智能化系统	江苏南大紫金智能科技有限公司
设备部品(件)体系	04-S80-007	QSA家庭智能网络终端(系统)	厦门求实智能网络设备有限公司
设备部品(件)体系	04-S80-008	指纹机械两用防盗门锁	嘉兴市亚太科创电子有限公司
设备部品(件)体系	04-S80-010	AH2000 楼宇对讲系统	福建冠林科技有限公司
设备部品(件)体系	04-S80-011	住宅信息配线箱	镇江宏联电工有限公司
设备部品(件)体系	04-S80-012	小区智能化与家居数字化产品	厦门立林科技有限公司
设备部品(件)体系	04-S80-013	HIS-2000 家居布线系统	杭州鸿雁电器有限公司
设备部品(件)体系	04-S80-014	MDS(ADS) 微电脑数控式可视对讲楼宇管理系统	弗曼科斯(上海)电子有限公司
设备部品(件)体系	04-S80-015	HIT 家庭智能终端	西安海星现代科技股份有限公司
设备部品(件)体系	04-S80-017	家居多媒体箱	南京华脉科技有限公司
设备部品(件)体系	04-S80-018	易家数字家居控制系统	易家科技(北京)有限公司

产品类别	证书编号	产品名称	申报单位
设备部品(件)体系	04-S90-001	双壁螺旋排水管材、管件	哈尔滨建筑塑料厂
设备部品(件)体系	04-S90-002	建筑排水用硬聚氯乙烯管材、管件	四川华西德顿塑料管道有限公司
设备部品(件)体系	04-S90-003	冷热水用聚丙烯(PP-R)管材、管件	四川华西德顿塑料管道有限公司
设备部品(件)体系	04-S90-004	给水用亚克力共聚聚氯乙烯管材、管件	积水滕龙化学技术有限公司
设备部品(件)体系	04-S90-005	不锈钢塑料复合管材、管件	山西新超管业股份有限公司
设备部品(件)体系	04-S90-006	冷热水用 PP-R 管材管件	杭州鸿雁电器有限公司
设备部品(件)体系	04-S90-007	建筑排水用 UPVC 管材管件	杭州鸿雁电器有限公司
小区配套部品(件)体系	04-P10-002	移动式污泥无害化处理装置	清华同方股份有限公司
小区配套部品(件)体系	04-P10-003	轻质高强一体化玻璃钢系列化粪池	无锡康霸环保设备有限公司
小区配套部品(件)体系	04-P40-001	旋转式垃圾压缩储存机	北京商周中天科技有限公司

# 绿色建筑评价标准

## (GB/T 50378-2006)

《绿色建筑评价标准》编制组

二〇〇六年二月

---

## 1 总则

**1.0.1** 为贯彻执行节约资源和保护环境的国家技术经济政策，推进可持续发展，规范绿色建筑的评价，制定本标准。

**1.0.2** 本标准用于评价住宅建筑和公共建筑中的办公建筑、商场建筑和旅馆建筑。

**1.0.3** 评价绿色建筑时，应统筹考虑建筑全寿命周期内，节能、节地、节水、节材、保护环境、满足建筑功能之间的辩证关系。

**1.0.4** 评价绿色建筑时，应依据因地制宜的原则，结合建筑所在地域的气候、资源、自然环境、经济、文化等特点进行评价。

**1.0.5** 绿色建筑的评价除应符合本标准外，尚应符合国家的法律法规和相关标准，体现经济效益、社会效益和环境效益的统一。

## 2 术语

**2.0.1** 绿色建筑 green building

在建筑的全寿命周期内，最大限度地节约资源(节能、节地、节水、节材)、保护环境和减少污染，为人们提供健康、适用和高效的使用空间，与自然和谐共生的建筑。

**2.0.2** 热岛强度 heat island intensity

城市内一个区域的气温与郊区气象测点温度的差值，为热岛效应的表征参数。

**2.0.3** 可再生能源 renewable energy

从自然界获取的、可以再生的非化石能源，包括风能、太阳能、水能、生物质能、地热能和海洋能等。

**2.0.4** 非传统水源 nontraditional water source

不同于传统地表水供水和地下水供水的水源，包括再生水、雨水、海水等。

**2.0.5** 可再利用材料 reusable material

在不改变所回收物质形态的前提下进行材料的直接再利用，或经过再组合、再修复后再利用的材料。

**2.0.6** 可再循环材料 recyclable material

对无法进行再利用的材料通过改变物质形态，生成另一种材料，实现多次循环利用的材料。

### 3 基本规定

#### 3.1 基本要求

**3.1.1** 绿色建筑的评价以建筑群或建筑单体为对象。评价单栋建筑时，凡涉及室外环境的指标，以该栋建筑所处环境的评价结果为准。

**3.1.2** 对新建、扩建与改建的住宅建筑或公共建筑的评价，应在其投入使用一年后进行。

**3.1.3** 申请评价方应进行建筑全寿命周期技术和经济分析，合理确定建筑规模，选用适当的建筑技术、设备和材料，并提交相应分析报告。

**3.1.4** 申请评价方应按本标准的有关要求，对规划、设计与施工阶段进行过程控制，并提交相关文档。

#### 3.2 评价与等级划分

**3.2.1** 绿色建筑评价指标体系由节地与室外环境、节能与能源利用、节水与水资源利用、节材与材料资源利用、室内环境质量和运营管理六类指标组成。每类指标包括控制项、一般项与优选项。

**3.2.2** 绿色建筑应满足本标准第四章住宅建筑或第五章公共建筑中所有控制项的要求，并按满足一般项数和优选项数的程度，划分为三个等级，等级划分按表 3.2.2-1、表 3.2.2-2 确定。

当本标准中某条文不适应建筑所在地区、气候与建筑类型等条件时，该条文可不参与评价，参评的总项数相应减少，等级划分时对项数的要求按原比例调整确定。

表 3.2.2-1 划分绿色建筑等级的项数要求（住宅建筑）

等级	一般项数（共 40 项）						优选项数 (共 9 项)
	节地与 室外环境 (共 8 项)	节能与 能源利用 (共 6 项)	节水与水 资源利用 (共 6 项)	节材与材 料资源利用 (共 7 项)	室内环 境质量 (共 6 项)	运营 管理 (共 7 项)	
★	4	2	3	3	2	4	-
★★	5	3	4	4	3	5	3
★★★	6	4	5	5	4	6	5

表 3.2.2-2 划分绿色建筑等级的项数要求（公共建筑）

等级	一般项数（共 43 项）						优选项数 (共 14 项)
	节地与室 外环境 (共 6 项)	节能与能源 利用 (共 10 项)	节水与水资 源利用 (共 6 项)	节材与材 料资源利用 (共 8 项)	室内环 境质量 (共 6 项)	运营 管理 (共 7 项)	
★	3	4	3	5	3	4	-
★★	4	6	4	6	4	5	6
★★★	5	8	5	7	5	6	10

**3.2.3** 本标准中定性条款的评价结论为通过或不通过；对有多项要求的条款，各项要求均满足时方能评为通过。

## 4 住宅建筑

### 4.1 节地与室外环境

#### 控制项

**4.1.1** 场地建设不破坏当地文物、自然水系、湿地、基本农田、森林和其他保护区。

**4.1.2** 建筑场地选址无洪灾、泥石流及含氡土壤的威胁。建筑场地安全范围内无电磁辐射危害和火、爆、有毒物质等危险源。

**4.1.3** 人均居住用地指标：低层不高于  $43 \text{ m}^2$ 、多层不高于  $28 \text{ m}^2$ 、中高层不高于  $24 \text{ m}^2$ 、高层不高于  $15 \text{ m}^2$ 。

**4.1.4** 住区建筑布局保证室内外的日照环境、采光和通风的要求，满足《城市居住区规划设计规范》GB 50180 中有关住宅建筑日照标准的要求。

**4.1.5** 种植适应当地气候和土壤条件的乡土植物，选用少维护、耐候性强、病虫害少、对人体无害的植物。

**4.1.6** 住区的绿地率不低于 30%，人均公共绿地面积不低于  $1 \text{ m}^2$ 。

**4.1.7** 住区内部无排放超标的污染源。

**4.1.8** 施工过程中制定并实施保护环境的具体措施，控制由于施工引起的大气污染、土壤污染、噪声影响、水污染、光污染以及对场地周边区域的影响。

#### 一般项

**4.1.9** 住区公共服务设施按规划配建，合理采用综合建筑并与周边地区共享。

- 
- 4.1.10** 充分利用尚可使用的旧建筑。
- 4.1.11** 住区环境噪声符合《城市区域环境噪声标准》GB 3096 的规定。
- 4.1.12** 住区室外日平均热岛强度不高于 1.5℃。
- 4.1.13** 住区风环境有利于冬季室外行走舒适及过渡季、夏季的自然通风。
- 4.1.14** 根据当地的气候条件和植物自然分布特点，栽植多种类型植物，乔、灌、草结合构成多层次的植物群落，每 100m<sup>2</sup>绿地上不少于 3 株乔木。
- 4.1.15** 选址和住区出入口的设置方便居民充分利用公共交通网络。住区出入口到达公共交通站点的步行距离不超过 500m。
- 4.1.16** 住区非机动车道路、地面停车场和其他硬质铺地采用透水地面，并利用园林绿化提供遮阳。室外透水地面面积比不小于 45%。

#### 优选项

- 4.1.17** 合理开发利用地下空间。
- 4.1.18** 合理选用废弃场地进行建设。对已被污染的废弃地，进行处理并达到有关标准。

### 4.2 节能与能源利用

#### 控制项

- 4.2.1** 住宅建筑热工设计和暖通空调设计符合国家和地方居住建筑节能标准的规定。
- 4.2.2** 当采用集中空调系统时，所选用的冷水机组或单元式空调机组的性能系数、能效比符合国家标准《公共建筑节能设计标准》GB 50189 中的有关规定值。
- 4.2.3** 采用集中采暖和（或）集中空调系统的住宅，设置室温调节和热量计量设施。

#### 一般项

- 4.2.4** 利用场地自然条件，合理设计建筑体形、朝向、楼距和窗墙面积比，使住宅获得良好的日照、通风和采光，并根据需要设遮阳设施。
- 4.2.5** 选用效率高的用能设备和系统。集中采暖系统热水循环水泵的耗电输热比，集中空调系统风机单位风量耗功率和冷热水输送能效比符合国家标准《公共建筑节能设计标准》GB 50189 的规定。
- 4.2.6** 当采用集中空调系统时，所选用的冷水机组或单元式空调机组的性能系数、能效比比国家标准《公共建筑节能设计标准》GB 50189 中的有关规定值高一个等级。

---

**4.2.7** 公共场所和部位的照明采用高效光源、高效灯具和低损耗镇流器等附件，并采取其它节能控制措施，在有自然采光的区域设定时或光电控制。

**4.2.8** 采用集中采暖和（或）集中空调系统的住宅，设置能量回收系统（装置）。

**4.2.9** 根据当地气候和自然资源条件，充分利用太阳能、地热能等可再生能源。可再生能源的使用量占建筑总能耗的比例大于 5%。

### 优选项

**4.2.10** 采暖或空调能耗不高于国家和地方建筑节能标准规定值的 80%。

**4.2.11** 可再生能源的使用量占建筑总能耗的比例大于 10%。

## 4.3 节水与水资源利用

### 控制项

**4.3.1** 在方案、规划阶段制定水系统规划方案，统筹、综合利用各种水资源。

**4.3.2** 采取有效措施避免管网漏损。

**4.3.3** 采用节水器具和设备，节水率不低于 8%。

**4.3.4** 景观用水不采用市政供水和自备地下水井供水。

**4.3.5** 使用非传统水源时，采取用水安全保障措施，且不对人体健康与周围环境产生不良影响。

### 一般项

**4.3.6** 合理规划地表与屋面雨水径流途径，降低地表径流，采用多种渗透措施增加雨水渗透量。

**4.3.7** 绿化用水、洗车用水等非饮用用水采用再生水和（或）雨水等非传统水源。

**4.3.8** 绿化灌溉采用喷灌、微灌等节水高效灌溉方式。

**4.3.9** 非饮用水采用再生水时，优先利用附近集中再生水厂的再生水；附近没有集中再生水厂时，通过技术经济比较，合理选择其他再生水水源和处理技术。

**4.3.10** 降雨量大的缺水地区，通过技术经济比较，合理确定雨水集蓄及利用方案。

**4.3.11** 非传统水源利用率不低于 10%。

### 优选项

**4.3.12** 非传统水源利用率不低于 30%。

## 4.4 节材与材料资源利用

---

### 控制项

**4.4.1** 建筑材料中有害物质含量符合国家标准 GB 18580～18588 和《建筑材料放射性核素限量》GB 6566 的要求。

**4.4.2** 建筑造型要素简约，无大量装饰性构件。

### 一般项

**4.4.3** 施工现场 500km 以内生产的建筑材料重量占建筑材料总重量的 70% 以上。

**4.4.4** 现浇混凝土采用预拌混凝土。

**4.4.5** 建筑结构材料合理采用高性能混凝土、高强度钢。

**4.4.6** 将建筑施工、旧建筑拆除和场地清理时产生的固体废弃物分类处理，并将其中可再利用材料、可再循环材料回收和再利用。

**4.4.7** 在建筑设计选材时考虑使用材料的可再循环使用性能。在保证安全和不污染环境的情况下，可再循环材料使用重量占所用建筑材料总重量的 10% 以上。

**4.4.8** 土建与装修工程一体化设计施工，不破坏和拆除已有的建筑构件及设施。

**4.4.9** 在保证性能的前提下，使用可再循环建筑材料，其用量占同类建筑材料的比例不低于 30%。

### 优选项

**4.4.10** 采用资源消耗和环境影响小的建筑结构体系。

**4.4.11** 可再利用建筑材料的使用率大于 5%。

## 4.5 室内环境质量

### 控制项

**4.5.1** 每套住宅至少有 1 个居住空间满足日照标准的要求。当有 4 个及 4 个以上居住空间时，至少有 2 个居住空间满足日照标准的要求。

**4.5.2** 卧室、起居室（厅）、书房、厨房设置外窗，房间的采光系数不低于《建筑采光设计标准》GB/T 50033 的规定。

**4.5.3** 对建筑围护结构采取有效的隔声、减噪措施，卧室、起居室的允许噪声级在关窗状态下白天不大于 45 dB (A)，夜间不大于 35 dB (A)。楼板和分户墙的空气声计权隔声量不小于 45dB，楼板的计权标准化撞击声声压级不大于 70dB。户门的空气声计权隔声量不小于 30dB；外窗的空气声计权隔声量不小于 25dB，沿街时不小于 30dB。

---

**4.5.4** 居住空间能自然通风，通风开口面积在夏热冬暖和夏热冬冷地区不小于该房间地板面积的 8%，在其他地区不小于 5%。

**4.5.5** 室内游离甲醛、苯、氨、氡和 TVOC 等空气污染物浓度符合国家标准《民用建筑室内环境污染控制规范》GB 50325 的规定。

#### 一般项

**4.5.6** 居住空间开窗具有良好的视野，且避免户间居住空间的视线干扰。当 1 套住宅设有 2 个及 2 个以上卫生间时，至少有 1 个卫生间设有外窗。

**4.5.7** 屋面、地面、外墙和外窗的内表面在室内温、湿度设计条件下无结露现象。

**4.5.8** 在自然通风条件下，房间的屋顶和东、西外墙内表面的最高温度满足国家标准《民用建筑热工设计规范》GB 50176 的要求。

**4.5.9** 设采暖或空调系统（设备）的住宅，运行时用户可根据需要对室温进行调控。

**4.5.10** 采用可调节外遮阳，防止夏季太阳辐射透过窗户玻璃直接进入室内。

**4.5.11** 设置通风换气装置或室内空气质量监测装置。

#### 优选项

**4.5.12** 卧室、起居室（厅）使用蓄能、调湿或改善室内空气质量的功能材料。

### 4.6 运营管理

#### 控制项

**4.6.1** 制定并实施节能、节水、节材与绿化管理制度。

**4.6.2** 住宅水、电、燃气分户、分类计量与收费。

**4.6.3** 制定垃圾管理制度，对垃圾物流进行有效控制，对废品进行分类收集，防止垃圾无序倾倒和二次污染。

**4.6.4** 设置密闭的垃圾容器，并有严格的保洁清洗措施，生活垃圾采用袋装化存放。

#### 一般项

**4.6.5** 垃圾站(间)设冲洗和排水设施。存放垃圾及时清运，不污染环境，不散发臭味。

**4.6.6** 智能化系统定位正确，采用的技术先进、实用、可靠，达到安全防范子系统、管理与设备监控子系统与信息网络子系统的基本配置要求。

- 
- 4.6.7** 采用无公害病虫害防治技术，规范杀虫剂、除草剂、化肥、农药等化学药品的使用，有效避免对土壤和地下水环境的损害。
  - 4.6.8** 栽种和移植的树木成活率大于 90%，植物生长状态良好。
  - 4.6.9** 物业管理部门通过 ISO 14001 环境管理体系认证。
  - 4.6.10** 垃圾分类收集率（实行垃圾分类收集的住户占总住户数的比例）达 90% 以上。
  - 4.6.11** 设备、管道的设置方便维修、改造和更换。

### 优选项

- 4.6.12** 对可生物降解垃圾进行单独收集或设置可生物降解垃圾处理房，垃圾收集或垃圾处理房设有风道或排风、冲洗和排水设施，处理过程无二次污染。

## 5 公共建筑

### 5.1 节地与室外环境

#### 控制项

- 5.1.1** 场地建设不破坏当地文物、自然水系、湿地、基本农田、森林和其他保护区。
- 5.1.2** 建筑场地选址无洪灾、泥石流及含氡土壤的威胁，建筑场地安全范围内无电磁辐射危害和火、爆、有毒物质等危险源。
- 5.1.3** 不对周边建筑物带来光污染，不影响周围居住建筑的日照要求。
- 5.1.4** 场地内无排放超标的污染源。
- 5.1.5** 施工过程中制定并实施保护环境的具体措施，控制由于施工引起各种污染以及对场地周边区域的影响。

#### 一般项

- 5.1.6** 场地环境噪声符合国家标准《城市区域环境噪声标准》GB3096 的规定。
- 5.1.7** 建筑物周围人行区风速低于 5m/s，不影响室外活动的舒适性和建筑通风。
- 5.1.8** 合理采用屋顶绿化、垂直绿化等方式。
- 5.1.9** 绿化物种选择适宜当地气候和土壤条件的乡土植物，且采用包含乔、灌木的复层绿化。
- 5.1.10** 场地交通组织合理，到达公共交通站点的步行距离不超过 500m。
- 5.1.11** 合理开发利用地下空间。

---

## 优选项

**5.1.12** 合理选用废弃场地进行建设。对已被污染的废弃地，进行处理并达到有关标准。

**5.1.13** 充分利用尚可使用的旧建筑，并纳入规划项目。

**5.1.14** 室外透水地面面积比大于等于 40%。

## 5.2 节能与能源利用

### 控制项

**5.2.1** 围护结构热工性能指标符合国家和地方公共建筑节能标准的规定。

**5.2.2** 空调采暖系统的冷热源机组能效比符合国家标准《公共建筑节能设计标准》GB 50189-2005 第 5.4.5、5.4.8 及 5.4.9 条规定，锅炉热效率符合第 5.4.3 条规定。

**5.2.3** 不采用电热锅炉、电热水器作为直接采暖和空气调节系统的热源。

**5.2.4** 各房间或场所的照明功率密度值不高于国家标准《建筑照明设计标准》GB 50034 规定的现行值。

**5.2.5** 新建的公共建筑，冷热源、输配系统和照明等各部分能耗进行独立分项计量。

### 一般项

**5.2.6** 建筑总平面设计有利于冬季日照并避开冬季主导风向，夏季利于自然通风。

**5.2.7** 建筑外窗可开启面积不小于外窗总面积的 30%，建筑幕墙具有可开启部分或设有通风换气装置。

**5.2.8** 建筑外窗的气密性不低于国家标准《建筑外窗气密性能分级及其检测方法》GB 7107 规定的 4 级要求。

**5.2.9** 合理采用蓄冷蓄热技术。

**5.2.10** 利用排风对新风进行预热（或预冷）处理，降低新风负荷。

**5.2.11** 全空气空调系统采取实现全新风运行或可调新风比的措施。

**5.2.12** 建筑物处于部分冷热负荷时和仅部分空间使用时，采取有效措施节约通风空调系统能耗。

**5.2.13** 采用节能设备与系统。通风空调系统风机的单位风量耗功率和冷热水系统的输送能效比符合国家标准《公共建筑节能设计标准》GB 50189-2005 第 5.3.26、5.3.27 条的规定。

**5.2.14** 选用余热或废热利用等方式提供建筑所需蒸汽或生活热水。

**5.2.15** 改建和扩建的公共建筑，冷热源、输配系统和照明等各部分能耗进行独立

---

分项计量。

### 优选项

- 5.2.16** 建筑设计总能耗低于国家和地方节能标准规定值的 80%。
- 5.2.17** 采用分布式热电冷联供技术，提高能源的综合利用率。
- 5.2.18** 根据当地气候和自然资源条件，充分利用太阳能、地热能等可再生能源，可再生能源产生的热水量不低于建筑生活热水消耗量的 10%，或可再生能源发电量不低于建筑用电量的 2%。
- 5.2.19** 各房间或场所的照明功率密度值不高于国家标准《建筑照明设计标准》GB 50034 规定的目标值。

## 5.3 节水与水资源利用

### 控制项

- 5.3.1** 在方案、规划阶段制定水系统规划方案，统筹、综合利用各种水资源。
- 5.3.2** 设置合理、完善的供水、排水系统。
- 5.3.3** 采取有效措施避免管网漏损。
- 5.3.4** 建筑内卫生器具合理选用节水器具。
- 5.3.5** 使用非传统水源时，采取用水安全保障措施，且不对人体健康与周围环境产生不良影响。

### 一般项

- 5.3.6** 通过技术经济比较，合理确定雨水积蓄、处理及利用方案。
- 5.3.7** 绿化、景观、洗车等用水采用非传统水源。
- 5.3.8** 绿化灌溉采用喷灌、微灌等节水高效灌溉方式。
- 5.3.9** 非饮用水采用再生水时，利用附近集中再生水厂的再生水，或通过技术经济比较，合理选择其他再生水水源和处理技术。
- 5.3.10** 按用途设置用水计量水表。
- 5.3.11** 办公楼、商场类建筑非传统水源利用率不低于 20%，旅馆类建筑不低于 15%。

### 优选项

- 5.3.12** 办公楼、商场类建筑非传统水源利用率不低于 40%，旅馆类建筑不低于 25%。

---

## 5.4 节材与材料资源利用

### 控制项

**5.4.1** 建筑材料中有害物质含量符合国家标准 GB18580～18588 和《建筑材料放射性核素限量》GB 6566 的要求。

**5.4.2** 建筑造型要素简约，无大量装饰性构件。

### 一般项

**5.4.3** 施工现场 500km 以内生产的建筑材料重量占建筑材料总重量的 60% 以上。。

**5.4.4** 现浇混凝土采用预拌混凝土

**5.4.5** 建筑结构材料合理采用高性能混凝土、高强度钢。

**5.4.6** 将建筑施工、旧建筑拆除和场地清理时产生的固体废弃物分类处理并将其中可再利用材料、可再循环材料回收和再利用。

**5.4.7** 在建筑设计选材时考虑材料的可循环使用性能。在保证安全和不污染环境的情况下，可再循环材料使用重量占所用建筑材料总重量的 10% 以上。

**5.4.8** 土建与装修工程一体化设计施工，不破坏和拆除已有的建筑构件及设施，避免重复装修。

**5.4.9** 办公、商场类建筑室内采用灵活隔断，减少重新装修时的材料浪费和垃圾产生。

**5.4.10** 在保证性能的前提下，使用以废弃物为原料生产的建筑材料，其用量占同类建筑材料的比例不低于 30%。

### 优选项

**5.4.11** 采用资源消耗和环境影响小的建筑结构体系。

**5.4.12** 可再利用建筑材料的使用率大于 5%。

## 5.5 室内环境质量

### 控制项

**5.5.1** 采用集中空调的建筑，房间内的温度、湿度、风速等参数符合国家标准《公共建筑节能设计标准》GB 50189 中的设计计算要求。

**5.5.2** 建筑围护结构内部和表面无结露、发霉现象。

**5.5.3** 采用集中空调的建筑，新风量符合国家标准《公共建筑节能设计标准》GB 50189 的设计要求。

---

**5.5.4** 室内游离甲醛、苯、氨、氡和TVOC等空气污染物浓度符合国家标准《民用建筑工程室内环境污染控制规范》GB 50325中的有关规定。

**5.5.5** 宾馆和办公建筑室内背景噪声符合国家标准《民用建筑隔声设计规范》GBJ 118中室内允许噪声标准中的二级要求；商场类建筑室内背景噪声水平满足国家标准《商场（店）、书店卫生标准》GB 9670的相关要求。

**5.5.6** 建筑室内照度、统一眩光值、一般显色指数等指标满足国家标准《照明设计标准》GB 50034中的有关要求。

#### 一般项

**5.5.7** 建筑设计和构造设计有促进自然通风的措施。

**5.5.8** 室内采用调节方便、可提高人员舒适性的空调末端。

**5.5.9** 宾馆类建筑围护结构构件隔声性能满足国家标准《民用建筑隔声设计规范》GBJ 118中的一级要求。

**5.5.10** 建筑平面布局和空间功能安排合理，减少相邻空间的噪声干扰以及外界噪声对室内的影响。

**5.5.11** 办公、宾馆类建筑 75%以上的主要功能空间室内采光系数满足国家标准《建筑采光设计标准》GB/T 50033的要求。

**5.5.12** 建筑入口和主要活动空间设有无障碍设施。

#### 优选项

**5.5.13** 采用可调节外遮阳，改善室内热环境。

**5.5.14** 设置室内空气质量监控系统，保证健康舒适的室内环境。

**5.5.15** 采用合理措施改善室内或地下空间的自然采光效果。

### 5.6 运营管理

#### 控制项

**5.6.1** 制定并实施节能、节水等资源节约与绿化管理制度。

**5.6.2** 建筑运行过程中无不达标废气、废水排放。

**5.6.3** 分类收集和处理废弃物，且收集和处理过程中无二次污染。

#### 一般项

**5.6.4** 建筑施工兼顾土方平衡和施工道路等设施在运营过程中的使用。

**5.6.5** 物业管理部门通过ISO14001环境管理体系认证。

- 
- 5.6.6** 设备、管道的设置便于维修、改造和更换。
  - 5.6.7** 对空调通风系统按照国家标准《空调通风系统清洗规范》GB 19210 规定进行定期检查和清洗。.
  - 5.6.8** 建筑智能化系统定位合理，信息网络系统功能完善。
  - 5.6.9** 建筑通风、空调、照明等设备自动监控系统技术合理，系统高效运营。
  - 5.6.10** 办公、商场类建筑耗电、冷热量等实行计量收费。

### 优选项

- 5.6.11** 具有并实施资源管理激励机制，管理业绩与节约资源、提高经济效益挂钩。



第十二届创新风暴·2013 中国房地产创新典范品牌推介活动

# 2013 · 中国房地产创新典范

**主办单位：中国建设报·中国住房**

2013年4月 — 8月

**报送方案截止时间：7月10日**

**国际机构：** 国际房地产促进会



**支持单位：** 中国房地产业协会  
住房和城乡建设部科学技术委员会办公室

**出版支持：** 中国城市出版社

## 一、宗旨

新一届中央政府提出的“新型城镇化”，成为中国房地产业新的历史使命。本轮调控历时三年，中国楼市徘徊于十字路口，如何把握这一挑战与机遇，顺利完成行业转型与发展，助推中华民族伟大复兴的中国梦，将是未来十年不容忽视的重大命题。

党的十八大提出“生态文明建设”和“美丽中国”的目标，将环境保护作为一个时期内生态文明建设的攻坚方向；由国家发改委、住房和城乡建设部联合制定的《绿色建筑行动方案》也已实施，将绿色建筑推提升到国家战略。

三年调控洗礼，楼市规则解构并重建；新型城镇化问世，发展机遇与挑战共存；居住需求锁定改善与提高，为产品的多元化与高端化提供了市场空间。

只有疲软的市场，没有疲软的产品。只有垮掉的企业，没有垮掉的行业。

我们坚信，产品与品质是检验市场竞争力的惟一标准。

由《中国建设报·中国住房》（原《中国建设报·中国楼市》）连续成功举办十一届的“创新风暴”系列活动，坚守“创新是第一生产力”，秉持“规划设计是龙头”，被业界誉为推动中国房地产行业创新的一面旗帜。它见证了中国房地产业的发展历程，探索了中国房地产产品的创新方向，并推动了我国房地产规划设计及建设的进步与创新，提升了众多开发企业与国际先进理念接轨的意识与水平。

第十二届“创新风暴”活动将继续秉持活动的一贯精神，全面关注各地在自主创新、环保生态、节能减排、绿色低碳、民生贡献等方面有突出成就的房地产项目。我们将持续推出一批具有标杆示范意义的优秀房地产项目，同时推出一批具有创新意识和研发精神的建筑设计师和设计机构。我们希望通过榜样的力量，来全面推动中国房地产行业的创新发展。

让我们在创新的路上相伴同行。

• 本届活动特设“国际房地产创新典范”奖项。以更广阔的国际化视野，站在全球经济高度，吸纳国内外优秀项目，加强国际间的交流与合作，推动我国房地产开发建设向着国际水平迈进；

• 本届活动特设“年度创新力设计机构”与“年度创新力设计师”奖项，表彰本年度在推动行业发展方面具有杰出贡献的设计工作者，从龙头上推动中国房地产的创新发展；

- 本届活动将重点关注和培育养老地产项目，并将为业界贡献权威资讯；
- 本届活动将发布《2013·中国房地产产品创新趋势报告》，由中国房地产行业的权威专家确立产品品质风向标；
- 本届活动的获奖项目将同时推荐参加由中国房地产业协会与住房和城乡建设部科技与产业化发展中心组织的“广厦奖”活动，并拥有“广厦奖”规划设计方案同等优先资格。

## 二、组织机构

**国际支持机构：**国际房地产促进会

**支持单位：**中国房地产业协会

住房和城乡建设部科学技术委员会办公室

**主办单位：**中国建设报·中国住房

**出版支持：**中国城市出版社

**设计支持：**风至飞扬服务机构

**独家专业网络支持：**中房网

**独家门户网络支持：**搜房网

**独家财经网络支持：**和讯网

**独家房地产网络支持：**搜狐焦点

**中央地产新闻网络支持：**地产中国网

**媒体支持：**中央电视台、北京电视台、凤凰卫视、中国日报、环球时报、21世纪经济报道、经济观察报、北京青年报、新京报、深圳特区报、南方都市报、重庆商报、扬子晚报、天津日报、成都商报、辽沈晚报、江南都市报、华商报、大连晚报、大河报、江西都市报、山西日报、楚天都市报、福州晚报、乌鲁木齐晚报、青岛日报、桂林日报、贵阳日报、山东商报、海南日报、南宁晚报等全国60余家主流媒体

**网络支持：**新华网、人民网、新浪网

### **三、评审团队**

**“中国房地产创新典范”推介活动专家评审委员会**

**(由住房和城乡建设部住宅建设及产业现代化专家委员会专家和著名建筑师共同组成)**

### **四、推介范围**

1. 对中国房地产业发展具有引领和推动作用，在开发模式、建筑规划设计、景观环境、科技应用等方面具有创新精神的建筑设计机构；
2. 对中国房地产业发展具有引领和推动作用，在产品设计方面具有创新精神的建筑设计师；
3. 申报国际奖项的项目，应为具有国际设计合作团队，能够体现国际规划设计先进理念与水平，在全国范围内形成较大影响的典型房地产项目。在保证居住舒适度与时代感的同时，利用新理念、新技术，在节能、节地、节水、环保、生态、合理解决自然资源利用、降低温室气体排放强度，发展循环经济，推广低碳技术等方面有突出贡献、深受市场欢迎的项目；
4. 在某个城市或区域内形成较大影响、能够代表某个城市或区域房地产开发水平的典型房地产项目；
5. 在开发模式、规划设计、建筑设计、景观设计、物业管理、科技应用等方面具有创新精神的典型房地产项目；
6. 在节能减排、资源节约、生态环保、绿色低碳等方面具有创新精神的房地产项目；
7. 在新型城镇化建设、旧城改造、大型社区、卫星城建设中具有代表性的、创新性的典型房地产项目；
8. 在住宅产业化、新技术应用以及社区管理方面具有创新精神的典型房地产项目；
9. 在行业内形成一定影响、有创新精神和示范意义的针对各层次居住需求的住宅项目；
10. 对某个区域经济产生重大影响的，在行业内具有示范意义的，或在商业模式、开发模式、运营模式、资金管理模式方面具有创新精神的各类房地产项目；
11. 对房地产产品类型、商业运作模式、土地开发模式具有创新和先导意义的各类房地产项目；
12. 对中国房地产发展具有推动作用的新技术、新部品建材类项目；
13. 在节能减排、绿色低碳等方面具有创新精神的部品建材企业和人物。

## 五、活动要求

### A. 地产类

#### (一) 参赛要求

1. 报送项目要突出创新意识，从新的开发模式、设计理念和设计方法上进行研究，探索符合当代中国社会经济发展水平和需求的城市生活、空间和环境；
2. 报送项目应注重“环保生态、节能减排”政策的贯彻落实，重点从规划设计开始，将低碳设计理念贯穿项目的全过程。应注重采用节能省地、环保生态等实用性强的新技术，进一步加强其科技含量；
3. 报送项目应从设计的科学性、实用性和可持续性出发，秉持精密设计理念，符合我国建筑节能省地发展方向，满足建设资源节约型和环境友好型社会的要求；
4. 报送住宅类项目应注重我国广大城镇居民丰富的居住生活方式，正确引导合理的住房消费模式，充分满足不同阶段、不同人群的居住需求，在有效利用资源的前提下，大力改善并提升居民的居住品质；
5. 报送商业地产、写字楼、工业地产及城市综合体项目，应充分考虑项目所在区域的经济发展水平，并对区域经济的发展具有推动促进作用；
6. 报送旅游地产项目应当结合当地旅游文化发展特色，充分融合并传承当地的自然景观和居住文化，切忌对当地原古建文化生态文明进行破坏；
7. 报送养老地产项目应当从规划建筑设计到户型、室内装修设计上均充分考虑适老化设计，具备社区医疗健康、老年文娱等相关服务配套，并在运营模式上具备一定的创新；
8. 报送项目要坚持安全、适用、经济、美观、以人为本的基本原则，居住类项目有较好的适用性能、环境性能、经济性能、安全性能、耐久性能；综合性开发项目要坚持服务城市居民生活水平不断提高、服务区域城市功能不断升级、服务城市科学发展的总体目标；
9. 报送项目在建筑外观、细部处理、建筑色彩、材料做法等方面体现地域特征和地方特色，为居民营造安全、舒适、方便、健康的人居环境；
10. 报送项目应符合国家规定的各项强制性标准。

#### (二) 报名条件

1. 报送项目所属企业基本面良好，市场形象健康，具有良好品牌；
2. 已正式批准立项，符合推介范围的拟建、在建和已竣工项目；

3. 项目规模总建筑面积 10 万平方米以上，用地、规划及开工手续齐备；或建筑面积虽不足 10 万平方米，但项目规划设计优秀的项目；中小城市要求总建筑面积 5 万平方米以上；
4. 认同创新风暴规范而严格的活动流程及推介标准。

### (三) 图纸与资料的要求

1. 住宅类项目表达内容包括：

- ①项目建设和规划设计说明（1000字左右）；
- ②项目规划设计总平面图，及能表达设计意图的效果图、各类分析图（规划结构、交通组织、景观设计、公建分布）；
- ③主要住宅建筑单体设计图，平面图、立面图、剖面图（附建筑尺寸）；
- ④主要建筑立面效果图；群体建筑的组合体空间环境表现图和效果图；
- ⑤有代表性的各类户型图；
- ⑥在绿色低碳、节能环保方面的主要应用技术的必要说明及相关的设计详图、图片、图表等；
- ⑦各种相关技术经济指标。

2. 公建类（或园区、新城区类）项目表达内容包括：

- ①项目建设和规划设计说明（1000字左右）；
- ②项目规划设计总平面图，及能表达设计意图的效果图、各类分析图（规划结构、交通组织、景观设计、公建分布）；
- ③主要建筑单体设计图，平面图、立面图、剖面图（附建筑尺寸）；
- ④主要公共建筑立面效果图；群体建筑的组合体空间环境表现图和住宅建筑效果图；
- ⑤有代表性的各类图纸；
- ⑥在绿色低碳、节能环保方面的主要应用技术的必要说明及相关的设计详图、图片、图表等；
- ⑦各种相关技术经济指标。

3. 申报“创新力设计机构和设计师”奖项的相关要求：

- ① 申报机构（或人物）的介绍资料、大事记及近年来的主要代表作品（1000字左右）；
- ② 申报机构（或人物）在当年的主要荣誉奖项或学术成果说明（1000字左右）；
- ③ 申报机构（或人物）对自己所在的职业领域的独到见解以及未来的发展方向说明（1000字左右）。

4. 申报国际奖项的项目，应补充国际设计合作团队资料介绍，以及在节能、节地、节水、环保、生态、合理解决自然资源利用、降低温室气体排放强度，发展循环经济，推广低碳技术等新理念、新技术方面的资料。
5. 图纸以A3彩色文本尺寸装订成册，一式两册；封面注明项目所报奖项不超过3项；内页标注报送人姓名及详细联系方式（评审期间可能会有专家致电沟通方案技术问题）。
6. 报送与内容相同光盘两张（所有图片以tif或jpg格式刻录），不可报送项目展板。
7. 硬质封面封底，图表清晰，文字表述完整。
8. 同时提交并装订：企业营业执照、企业资质证明及其它相关手续复印件。

## B. 部品类

### （一）部品企业与人物参选条件

1. 荣获过省部级奖励；
2. 在推广节能减排、低碳生态科技方面成绩突出；
3. 企业在推动环境保护、促进文明建设、主动回馈社会方面做出过突出成绩；
4. 有较强的核心竞争力，有突出的企业文化和创新精神，开发、建设的工程项目顺利实现各项创优计划；
5. 有突出的品牌知名度、美誉度、号召力和影响力，在品牌塑造上有独到创新点；
6. 具有行业影响力及社会责任感；
7. 求真务实、锐意改革、开拓创新，长期致力于本行业的技术进步和健康发展；
8. 所创品牌成长迅速，品牌效益显著，居于行业领先水平；
9. 资本市场运作成绩显著。

### （二）新材料新部品新技术参选条件

1. 建设领域新技术、新材料、新设备、新工艺等，具有突出创新点；
2. 符合住房和城乡建设部《推广应用新技术和限制、禁止使用落后技术》公告要求；
3. 技术先进、成熟、抗辐射能力强，适合在全国或较大范围内推广应用；
4. 产品（或技术、材料、设备）已研发成功，并经过国家相关部门（机构）评估、鉴定，已经进入市场；
5. 不存在侵权问题、质量问题、负面影响；
6. 科技含量高，推广价值大，市场前景广阔；
7. 对推动行业进步有重要意义。

## **六、推介办法与流程**

### **(一) 第一阶段启动与初评 (4月1日—7月10日)**

1. 参评企业须认真填写活动报名表，并传真至组委会确认报名；
2. 每个参评项目可按照意向顺序申报奖项，每个项目不超过3个奖项，并提交与申报奖项相应的送审材料；
3. 参评企业须于7月10日前提交送审资料，由组委会进行资料初审，并对送审资料缺失部分进行催报以利补充完善；
4. 组委会对催送后仍属资料不完整的参评项目作第一轮淘汰处理。

### **(二) 第二阶段终评 (7月10日---7月15日)**

主办单位将邀请业内知名专家和领导组成本次竞赛组委会和评审委员会，对参赛方案进行封闭式评审。

### **(三) 第三阶段颁奖与推广 (8月 中下旬 详见获奖通知)**

组委会将于8月中下旬在北京钓鱼台国宾馆举行隆重的颁奖典礼和大型推广活动。

## **七、奖项设置**

### **(一) 年度国际大奖----- 国际房地产创新典范**

### **(二) 年度综合大奖----- 中国房地产创新典范 中国绿色生态建设创新典范 中国新型城镇化建设创新典范**

### **(三) 年度专业大奖----- 中国房地产创新力设计机构 中国房地产创新力设计师**

### **(四) 年度设计大奖----- 中国房地产设计创新典范 中国美丽社区创新典范**

### **(五) 年度领域大奖----- 中国高端品质创新典范 中国产业园区创新典范 中国文旅地产创新典范 中国商业地产（城市综合体）创新典范 中国养生养老地产创新典范**

### **(六) 部品类年度大奖----- 中国绿色部品创新推动力企业 中国绿色部品创新推动力人物 中国绿色部品创新产品/技术大奖**

## **八、相关费用**

1. 对参赛项目不收取任何报名费用和评审费用，活动前期的所有运行费用由主办单位承担；
2. 对未获奖项目不收取任何费用；
3. 专家评审委员会对参赛项目采取封闭式评审，评审过程严格保密；
4. 对获奖项目和获奖机构仅收取后期的宣传推广费用：10万元（国际奖项19.8万元）。

## **九、价值回报**

### **1. 获得行业殊荣**

成为2013·中国房地产创新典范品牌，提升知名度、美誉度，项目的品牌竞争力将得到行业和市场的高度认可。

### **2. 获得多重殊荣**

本届活动获奖项目将同时推荐参加由中国房地产业协会与住房和城乡建设部科技与产业化发展中心组织的“广厦奖”活动，并拥有“广厦奖”规划设计方案同等优先资格。

### **3. 获奖项目可获得后期宣传回报**

- ① 参加主办单位举办的颁奖典礼及高峰论坛；
- ② 组委会将推出活动特刊——《2013·中国房地产产品创新趋势报告》，每个获奖项目将获得1个彩色整版推介广告及4本活动特刊；
- ③ 《中国建设报·中国住房》通版广告版面发布获奖公告；
- ④ 中央电视台、北京电视台现场采访报道（获奖企业可邀请当地媒体现场采访报道）；
- ⑤ 中房网、地产中国网、搜房网、和讯网、搜狐焦点网等网络的前期舆论宣传；  
颁奖典礼、创新论坛、点评大会的网络现场直播；  
项目获奖公告的网络滚动发布；
- ⑥ 组委会将选取获得综合奖的企业代表，参加网络访谈直播；
- ⑦ 60多家中央及地方主流媒体现场采访报道（获奖企业可邀请当地媒体现场采访报道）；
- ⑧ 中国城市出版社将正式出版大型获奖方案图集，面向全国公开发行（每个获奖项目免费赠送4本）；

- ⑨ 组委会将邀请评审委员会专家举办获奖项目技术点评大会；
- ⑩ 根据获奖项目需求，组委会可组织领导、专家亲临项目现场，举办专场点评或其它推广活动，有关事宜另议。

## **十、注意事项**

1. 请认真填写参评申报表（【附件 1. 2. 3. 4. 5】）并传真或 E-mail 至组委会予以备案；
2. 严格按照参评要求认真准备及制作参评方案，方案简陋、缺图、缺尺寸、缺经济技术指标等将无法进入评审流程；
3. 在限定时间内，尽快将制作完毕的参评方案直接送达或特快专递至活动组委会；
4. 为方便专家评审、后期出书及大会点评，请将方案内容刻录成光盘 2 份随方案同时送至组委会；

**方案报送截止日期：2013 年 7 月 10 日**

**“第十二届创新风暴 • 2013 中国房地产创新典范”品牌推介活动组委会**

**地 址：** 北京市海淀区紫竹院路 100 号信弘大厦中国建设报社 B 座 532

**邮 编：** 100089

**传 真：** 010-51701511

**E-mail：** zhongguozhufang@163. com

**联系人：** 李佳秋 010-51555511-8697 18901365857

卢 丹 010-51555511-8667 18612110012

解 菲 010-51555511-8688 13701298187

【附件 1】:

参评申报表（地产项目类）

项目名称		总建筑面积	
项目类型			
项目进展状况		所在城市	
开发单位			
项目概况			
规划设计单位			
建筑规划单位			
景观设计单位			
预期方案到达时间			
联系人		职务	
联系电话		传真	
手机		E-mail	
项目负责人		联系电话	
联系地址		邮编	

注：请如实填写，如有误责任自负。

**【附件 2】：**

**参评申报表（设计机构类）**

企业名称				成立时间	
企业性质	国有 / 集体 / 民营 / 有限 / 合资 / 股份制 / 上市公司 (可多选)				
企业地址				注册资金	
法人代表		职务		联系电话	
企业简介					
代表作品 或学术成果					
联系人		职务		手机	
联系人电话		传真		E-mail	
本年度企业获奖情况					
时间	内容		发证机构	意义说明	

注：请如实填写，如有误责任自负。

**【附件 3】:**  
**参评申报表 (设计师类)**

姓名		性别		年龄	
现任职单位				学历	
企业性质	国有 / 集体 / 民营 / 有限 / 合资 / 股份制 / 上市公司 (可多选)				
任职职务					
联系电话		传真		手机	
联系地址				邮编	
个人简介					
工作经历及 相关业绩					
创新理念及 相关实践					
本年度个人获奖情况					
时间	内容			发证机构	

注：请如实填写，如有误责任自负。

**【附件 4】:**

**参评申报表（部品产品、企业类）**

单位名称					
单位地址					
法人代表		职 务		电 话	
传 真		手 机		Email	
经办人		职 务		电 话	
传 真		手 机		Email	
主要产品					
所属行业	<input type="checkbox"/> 建筑材料 <input type="checkbox"/> 节能技术 <input type="checkbox"/> 节能设备 <input type="checkbox"/> 工程服务 <input type="checkbox"/> 材料加工 其他:				
单位性质	<input type="checkbox"/> 生产型 <input type="checkbox"/> 销售型 <input type="checkbox"/> 服务型 <input type="checkbox"/> 品牌型 <input type="checkbox"/> 加工型 <input type="checkbox"/> 贸易型 <input type="checkbox"/> 技术型 <input type="checkbox"/> 代理型 <input type="checkbox"/> 国有控股 <input type="checkbox"/> 集体控股 <input type="checkbox"/> 私人控股 <input type="checkbox"/> 港澳台商控股 <input type="checkbox"/> 外商控股 其他:				
注册资金		成立时间		单位人数	
单位网址		单位品牌		年营业额	
参评奖项					
单位概况 （请附页说明）主要涵盖单位规模、实力简介、经营管理理念、企业文化理念 单位相关的办公大楼、重大活动场景、重大项目开工，重大项目合作签约场景等相关图片					
产品、技术在绿色、节能、环保等方面相关的创新 （请附页说明）(重点技术产品 特点、行业水平、适用范围、鉴定推广专利状况等，对拉动行业技术创新的价值和作用)					
需提供材料要求：1、将企业营业执照副本、组织机构代码证副本、税务登记证副本复印件加盖公章各 1 份；相关资质认证、推广专利、荣誉证书等复印件加盖公章各 1 份；单位概况（附页部分）、产品或技术在绿色、节能、环保等方面相关的创新（附页部分）一并装订成册。 2、企业宣传册不低于 5 份。					

注：请如实填写，如有误责任自负。

【附件 5】:

参评申报表 (部品人物类)

姓名		性别		年龄	
现单位				学历	
单位性质	<input type="checkbox"/> 生产型 <input type="checkbox"/> 销售型 <input type="checkbox"/> 服务型 <input type="checkbox"/> 品牌型 <input type="checkbox"/> 加工型 <input type="checkbox"/> 贸易型 <input type="checkbox"/> 技术型 <input type="checkbox"/> 代理型 <input type="checkbox"/> 国有控股 <input type="checkbox"/> 集体控股 <input type="checkbox"/> 私人控股 <input type="checkbox"/> 港澳台商控股 <input type="checkbox"/> 外商控股 <input type="checkbox"/> 其他				
职务		E-mail			
电话		传真		手机	
地址				邮编	
工作经历及 相关业绩					
创新理念 及 相关实践					
本年度个人获奖情况					
时间	内容			发证机构	

注：请如实填写，如有误责任自负。

## 【附件6】：

由原《中国建设报·中国楼市》(《中国建设报·中国住房》的前身)与住房和城乡建设部多家权威机构共同主办11届的“创新风暴”系列活动。以其权威性、公正性与专业性在业界获得了良好的口碑。

### “创新风暴”系列活动简介

(1999年~2012年)

#### 1999百龙杯“新户型时代”全国精品户型设计夺标活动

这是国内首次举办的权威户型创新设计活动，上海万里居住区、北京万科城市花园、嘉和丽园、水清木华园、万泉新新家园，苏州运盛美之国，南京月牙湖花园等一批项目在此次活动中脱颖而出。

当时的建设部副部长宋春华指出：户型设计是住宅设计中很重要的部分，住宅设计水平对提高整个住宅建设水平意义深远。

原建设部副部长、中国房地产业协会会长杨慎这样评价：户型设计是住宅建设整体水平提高的关键环节，相信通过这次活动，能为我国住宅设计水平再上新台阶起到积极的推动作用。

#### “创新风暴·2000全国住宅设计暨精品智能社区夺标”活动

“创新风暴”活动及其倡导的住宅设计理念迅速席卷大江南北，南方企业成为这次活动的主力并囊括了许多重要奖项。推出了深圳金海湾花园、上海新时代花园、北京太阳园、上海康桥半岛、郑州中房绿云——文博花园、上海秋月枫舍等历久不衰的经典项目。

原建设部副部长、中国房地产业协会会长杨慎评价：“创新风暴”活动不仅评选出全国一大批优秀项目，更为重要的是在全行业提倡了创新精神。

《北京晚报》年终评选“房地产行业年度10件大事”，以上两项活动均在其列。

《成都商报》头版报道本次活动论坛为“2000年中国房地产业财富论坛”。

#### “创新风暴·2002中国住宅设计创新夺标”活动

权威机构主办、主流开发商参与、国家级专家把关、专业化媒体承办，从多个环节保障了2002年中国住宅创新夺标活动的权威性、公正性和专业性，并使“创新夺标”活动具

有了空前的行业高度和品牌衍生性。房地产品牌企业组团参赛，有力的推动了大型企业的战略扩张及品牌提升。组团参赛的主要企业有：万科集团、万达集团、金地集团、华润置地、华新国际等以及阳光100、广西万通、北京当代、西安高科、深圳华侨城、苏州太湖之星、大连亿达、大连万恒、吉林亚泰、武汉城投、青岛城建等跨区域开发企业及当地龙头房地产企业。

原建设部副部长、中国房地产业协会会长杨慎在颁奖现场评价：创新是民族的灵魂，创新是永恒的主题，创新是推动房地产业持续发展的力量源泉，在目前这样一个房地产业发展的关键时期，创新精神尤其需要肯定和鼓励，“创新风暴”活动将创新主题推到了一个前所未有的高度。

原建设部副部长、全国政协委员、中国土木工程学会理事长谭庆琏在颁奖现场评价：活动严谨、周到、档次很高，确实是站在为建设部重点工作服务、为我国住宅建设服务的高度进行的，其意义不仅在于选拔代表行业先进水平的优秀项目，更重要的在于它的推广和共享活动。

### **“创新风暴·2003中国住宅设计创新夺标”活动**

本届“创新夺标”活动云集了中国房地产的众多品牌企业及金牌项目，上海金地·格林春晓、上海康桥水乡、上海水清木华、南京万科金色家园、重庆阳光100·国际新城、天津顺驰半岛系列·半岛·蓝湾、华侨城波托菲诺·纯水岸、苏州天邻风景、北京万万树独栋庭院等获得了创新示范楼盘大奖。

原建设部副部长、中国房地产业协会会长杨慎评价：通过创新活动的推动，我们的住宅质量一次比一次高，创新内容一次比一次新，创新影响力一次比一次强，创新效果一次比一次好，从而对全行业整体质量的提高和技术进步起了重要的促进作用，深受企业的欢迎和社会认同，成为行业中具有持续影响力和良好口碑的一项活动。

原建设部副部长、全国政协委员、中国土木工程学会会长谭庆琏在颁奖时说：坚持可持续发展道路，保护生态环境，是“中国住宅创新夺标活动”的主要目的。

### **“创新风暴·2004中国优秀住宅推介”活动**

跨区域的品牌集团旗下楼盘集体参评仍是“创新风暴”活动的主旋律，如万科、中海、金地、华新国际、绿地、大华、上实、中体奥林匹克花园、阳光100、顺驰等。各地公认的创新型明星楼盘积极参评构成“创新风暴”活动的另一道风景，如北京的CLASS·建于果岭的上层建筑、北京棕榈泉、上海康桥水乡、上海月光流域、天津海逸长洲、天津时代奥城、深圳香蜜山等。

原建设部副部长、中国房地产业协会会长杨慎说：作为历届活动的参与者和见证人，我深感这项活动对行业发展所起的促进作用日益彰显，参与面广，凝聚力强，已成为企业展示综合实力、把握市场脉络、不断提升核心竞争力的重要平台。

原建设部副部长、建设部住宅建设与产业现代化技术专家委员会副主任委员李振东评价：“创新风暴”活动已经连续搞了五届，在全国房地产业内得到了大家的拥护，尤其是这一届，品牌房企集体参评，创新型明星楼盘积极参评，不少知名专家给予活动充分的肯定和高度评价。

2004“创新风暴”活动专家评审委员会主任奚瑞林认为：本届活动申报项目数量创历史新高；整体水平有较大提高；大型企业集团统一组织申报相当广泛，申报资料认真，专业水平高，已成为引领业界设计创新的一面旗帜。

中房集团董事长兼总裁孟晓苏在颁奖现场说：“创新风暴”猛烈刮了五年，有力推动了国内住宅品质的提高。这场风暴还是要继续刮下去，荡涤旧观念，带来新观念，让居民住上设计更优、质量更好的房屋。

上海实业发展股份有限公司总裁卢铿评价：本届活动更具专业性、权威性和示范性。没有创新，就没有进步！勇于创新，才会有成功！

金地集团总裁张华纲评价：在宏观调控政策进一步深化的时刻，适逢“创新风暴”活动再次出台，使我们对中国房地产业未来的思考豁然开朗。可以说，创新伴随了金地的成长，“创新风暴”活动也见证了金地的成长。

## “创新风暴·2005中国居住创新典范推介”活动

为推动中国房地产的创新和实践与国际接轨，本届“创新风暴”活动除保留以前的权威机构外，特邀请世界房地产研究会和美国房地产协会作为支持机构，共有全国300多个项目参赛。最后选拔出的66个获奖项目，不仅在规划设计方面代表了目前中国住宅的领先水平，而且在科技运用方面有了更多的尝试与突破。

原建设部副部长、中国土木工程学会理事长谭庆琏评价：本次活动的成功表现在以下四个方面，首先，活动的组织机构与权威性较之历届活动都有提高，两家国际机构的支持加盟，使本次活动融入更多国际先进住宅设计理念，并受到了参会企业的欢迎，从最终评审结果看，国际奖竞争最为强烈，参加项目水平最高，最终有八个项目荣获国际奖。其次，评审的标准具有科学性、公开性、专业性和权威性。第三，活动的品牌效应突出，参赛单位大都是跨区域开发的品牌企业，如万科集团、万达集团、金地集团、上实发展、顺驰集团、融创集团、中体奥园、华润置地、阳光100、宏宇集团、鲁能置业等，也有当地龙头企业如西安紫薇、中星集团、交通地产、联合地产、重庆建工集团、湖北福星惠誉、哈尔滨综合开发等等。第四，评审对项目的科技含量及对新技术、新材料的应用等方面提出了较

高的要求，实行科技一票否决权，对创新设计、生态环保设计特别是节能、节地、节水、节材设计给予了充分肯定。

## “创新风暴·2006中国居住创新典范推介”活动

建设部住宅建设与产业现代化技术专家委员会副部长李振东表示：经过三个月的紧张筹备与严格评审，从近200个送审项目中胜出的60个项目，成为本年度我国住宅建设的典范，并将在全行业发挥出重大的示范作用。

中国房地产业协会名誉会长、全国工商联房地产商会名誉会长、原建设部副部长杨慎在此次活动颁奖典礼上说：“创新不仅是产业兴旺之本，也是构建资源节约型和环境友好型社会的必由之路。”

全国政协委员、中国土木工程学会理事长、建设部原副部长谭庆琏希望此项活动应：“坚持下去，并根据高标准和与时俱进的形势需要，在每年提出一些新的条件，特别是把节能、节地、节水、节材的要求贯彻到活动中，以推动我国居住小区水平的整体提高和新技术、新材料的应用，培育和树立行业的标杆，总结好经验并加以宣传推广。”

获奖项目代表，金地集团常务副总裁、金地上海公司董事长兼总经理赵汉忠表示，“创新风暴”活动一直受到业内和消费者的高度关注，多年来一直坚持其权威性和专业性，不仅为开发商的产品创新指明了方向，而且使消费者了解到很多优秀的项目。

## 2006年“中国创新’90中小套型住宅设计竞赛”活动

2006年12月16日，由建设部住宅与房地产业司、建设部工程质量监督与行业发展司、中国房地产业协会共同支持，中国房地产及住宅研究会、《中国建设报·中国楼市》联合主办，金地集团、紫薇地产倾力协办的“中国创新’90中小套型住宅设计竞赛”历时4个半月，全国25个省、自治区、直辖市的报名方案共计800余份，经各分赛区初选后，组委会收到实际参赛方案614份。最终，65个获奖方案脱颖而出。

建设部领导对活动非常重视，建设部部长汪光焘、副部长黄卫先后做出批示，要将本次竞赛获奖方案正式纳入建设部《90平方米以下住宅设计要点》和《90平方米以下住宅设计标准》的编制工作。

建设部副部长刘志峰在颁奖典礼的讲话中高度评价本次活动：“从国家实施宏观调控的大背景来看，这不是一场普通意义上的住宅设计竞赛，对于落实宏观调控政策很有必要，具有重要意义。有利于宏观调控政策繁荣进一步贯彻落实；有利于发展节能省地型住宅，推动建立资源节约型、环境友好型社会；有利于建立符合我国国情的住房建设和消费模式；有利于引导设计创作，提高住宅设计水平。”

金地集团董事长凌克和紫薇地产总经理韩红丽也在颁奖典礼上交流了先进的设计理念和经验，并对活动予以高度评价。

## “创新风暴·2007中国居住创新典范品牌推介”活动

本届“创新风暴”活动获奖项目除了规划设计的整体水平较往年有较大的提高外，在建筑设计、环境景观、节能省地、住宅产业化技术应用等方面也体现出了我国住宅建设取得的长足进步。一些获奖项目被评审专家誉为“不但将成为本年度我国住宅建设的创新典范，同时也将在全行业发挥出巨大的示范作用，进而推动我国住宅建设再上新台阶。”

此外，在去年引起广泛关注的90平方米以下中小套型住宅，在此次活动中占据了一定的比例，说明这一住宅类型已经引起开发商的普遍重视。而在注重节能省地、自然生态与可持续发展的今天，很多项目也以高度的社会责任感，秉持智能化设计理念，通过合理规划、科技应用，打造与自然和谐共生、节能节地、宜人宜居的住宅项目。

全国政协委员、中国土木工程学会理事长、建设部原副部长谭庆琏对本次活动评价：“作为我国国民经济的支柱产业，中国房地产业需要榜样。‘创新风暴’系列活动发现、推广了一大批优秀企业和优秀项目，并在全行业发挥了积极的榜样带头作用。”

## “创新风暴·2010中国居住创新典范品牌推介”活动

本届“创新风暴”活动重点提倡“将低碳理念贯穿项目设计全过程”。与自主创新一样，“环保生态、节能减排”是中央科学发展观的重要内容之一。哥本哈根世界气候大会又将“环保生态、低碳生活”理念提到了前所未有的高度，这也是房地产行业必须承担的历史使命。

“创新风暴”活动组委会主席、全国政协常委、人口资源环境委员会副主任、中国房地产研究会会长、中国房地产业协会会长、原建设部副部长、党组书记刘志峰在颁奖典礼上指出：“设计创新很重要，规划设计是龙头，是建设低能耗、高品质、长寿命住宅的基础和关键”。“所谓生产方式的转变，也就是改革创新。要实现住宅产业由传统的建筑业向先进的制造业转变，关键是推进住宅产业现代化”。

在这一理念的指导下，本届活动的获奖项目的创新成果与获奖企业的创新理念得到了业界的广泛认同。作为获奖企业，万科集团、金地集团、海尔地产、青啤地产、中国铁建、西安紫薇地产、北京石开地产、河北天山集团等地产企业的项目，均从不同角度为行业“创新”二字做出了现实注解，并再一次向行业表明，创新才是有志于做品牌地产的企业现在的与未来。

而与以往举办过的历届“创新风暴”活动一样，本届活动仍然是国内知名品牌房地产开发企业及著名设计机构作品的大聚会。除了上述品牌房企，本届活动还吸引了中国建筑

设计研究院、北京建筑设计研究院、上海现代建筑设计集团、中国建筑西北设计院、中建国际（深圳）设计顾问有限公司、阿特金斯顾问公司、日清建筑设计公司等国内外知名设计机构。

## “创新风暴·2011中国居住创新典范品牌推介”活动

2011年是一个具有分化意义的关键一年。在21世纪第一个十年精彩落幕之时，“创新风暴”活动也迎来了其十年盛典。这一年是“十二五规划”开局之年。在科学发展观的主导下，中国将加快转变经济发展方式，中国的房地产业也走到了十字路口。无论是宏观环境还是政策导向，都让房地产企业的生存与发展面临巨大挑战。

于是，本届“创新风暴”活动将“转型”定调为活动的主题。我们认为，面对一个崭新的局面，无论是困难与阻碍，还是机遇与挑战，在“创新”中“转型”，将成为鞭策行业进步的灵魂。本届“创新风暴”活动吸引了大量致力于长远发展，能够顺应市场形势而积极调整发展方式的房企，包括金地集团、万科集团、海尔地产、首开集团、金融街控股、西安紫薇、星河湾集团等等。实践也证明，这些企业无论顺市逆市，都在“创新”理念的支撑下获得了长足发展。

为了对十年这个具有划界意义的时间节点进行总结，本届活动特别推出了“创新十年·中国房地产功勋人物”大奖，以对在过去十年房地产行业发展中起到了积极推动、引领作用的企业人进行表彰，包括凌克、郁亮、卢铿、王健林、刘希模、韩红丽等人均位于榜单之中。

## “2011·中国首届保障性住房设计竞赛”活动

为响应中央大力建设保障性住房的相关政策，提高我国保障性住房的设计水平，在住房和城乡建设部住宅保障司、工程质量安全监管司的支持下，由住房和城乡建设部住宅产业化促进中心和《中国建设报·中国住房》共同主办了本届竞赛活动。

竞赛受到了社会各界的高度关注，也得到各地建设主管部门和规划设计单位的大力支持，共收到29个省市区的594份参赛作品，包括廉租住房、公共租赁住房、经济适用住房和限价商品房、拆迁安置房等各类保障性住房设计方案，其中大部分为已建或在建、拟建项目。本着公开、公平、公正的原则，组委会邀请国内权威专家组成评审委员会，对参赛作品进行了三轮评审，最终评选出了一等奖2个、二等奖14个、三等奖30个、鼓励奖55个、最佳单项奖7个、优秀组织奖24个。

本次竞赛活动特别注重功能性与集约性的统一与协调，注重细节设计、节能设计和性能完善，有些获奖项目还在住宅产业化成套技术应用、创新与实用方面做了很多有益的探索与尝试，有些项目开始关注可持续发展与未来的可更新改造性。

## **“第十一届创新风暴·2012中国居住创新典范品牌推介”活动**

2012年是本轮房地产市场调控持续进行的第三年，行业盘整深度进行，也因此出现了一些典型的房屋质量问题。为此，本届活动提出了“坚守品质生命线”的主题，认为“只有疲软的市场，没有疲软的产品。只有垮掉的企业，没有垮掉的行业”。

本届活动坚信，创新、变化与转型，必将是未来十年房地产业发展的关键词。随着中央宏观调控的持续，房地产市场环境和企业生存规则也在发生深刻改变。经济结构的调整与生产方式的转型势在必行，过去粗犷式增长的房地产发展路径和盈利模式在“十二五”发展时期不可持续。

对此，本届活动集结首开集团、万科集团、金地集团、方兴地产等品牌房企共同发布《品质地产宣言》，以高端影响力推动行业健康发展；同时发布《2012·中国房地产产品创新趋势报告》，由中国房地产行业的权威专家确立产品品质风向标。为推动我国住宅及房地产开发建设向着国际化水平迈进，本届活动还联合国际房地产促进会，特设“国际人居创新影响力示范楼盘”，以更广阔的国际化视野，站在全球化经济高度，促进国际间的交流与合作。

## **第十二届创新风暴·2013中国房地产创新典范”品牌推介活动组委会**

**地 址：** 北京市海淀区紫竹院路100号信弘大厦中国建设报社B座532

**邮 编：** 100089

**传 真：** 010-51701511

**E-mail：** zhongguozhufang@163.com

**联系人：** 李佳秋 010-51555511-8697 18901365857

卢 丹 010-51555511-8667 18612110012

解 菲 010-51555511-8688 13701298187